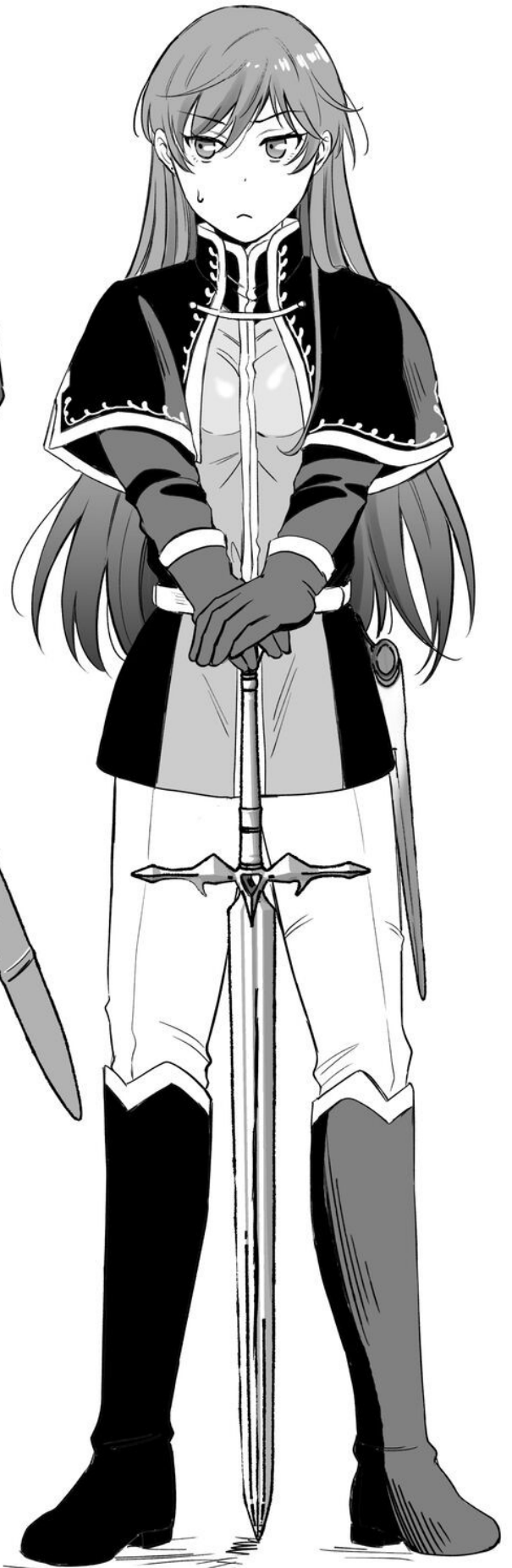
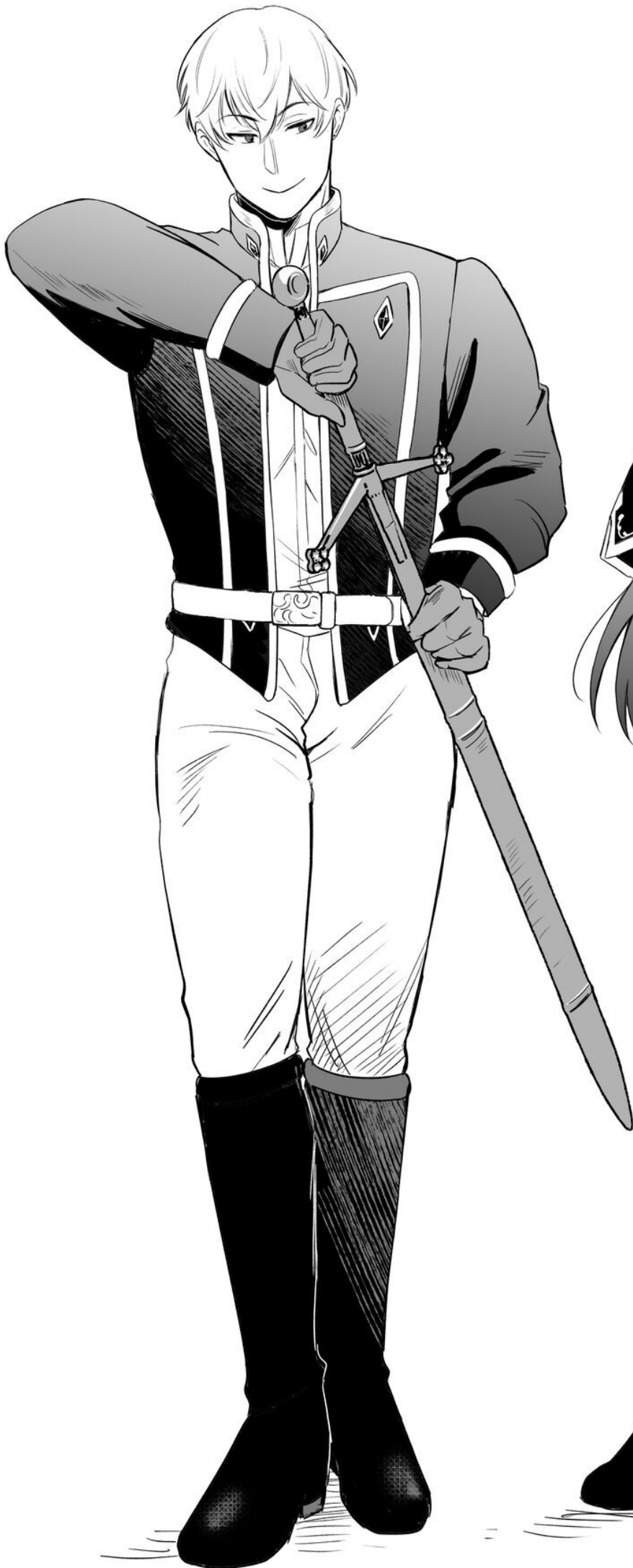




最強女騎士は執着系弟王子から
逃げられない!



最強の騎士は 執着系帝王子から 逃げられない!



ミラ・リゾット(23)

国王付きの近衛兵 女騎士
国王アレクのことを密かに想っている
とある出来事がきっかけで国王の弟
エルジュのことが大の苦手
彼から逃げ回っている



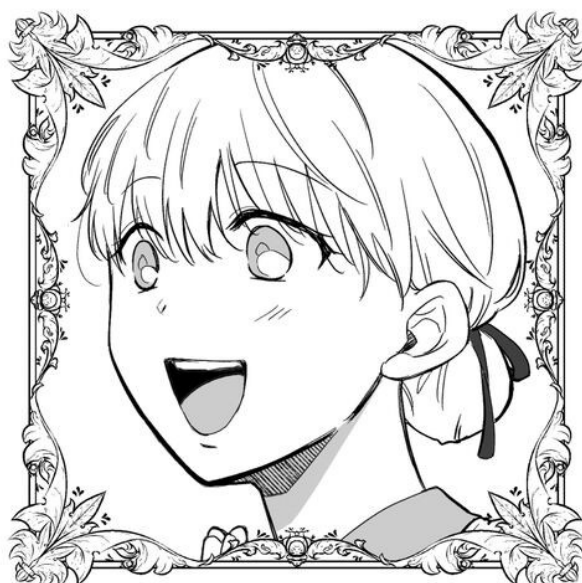
エルジュ・バンドール(27)

国王の弟 第2王子
ミラを密かに想っているが
手を出せずにいる
執着心が強く策略家



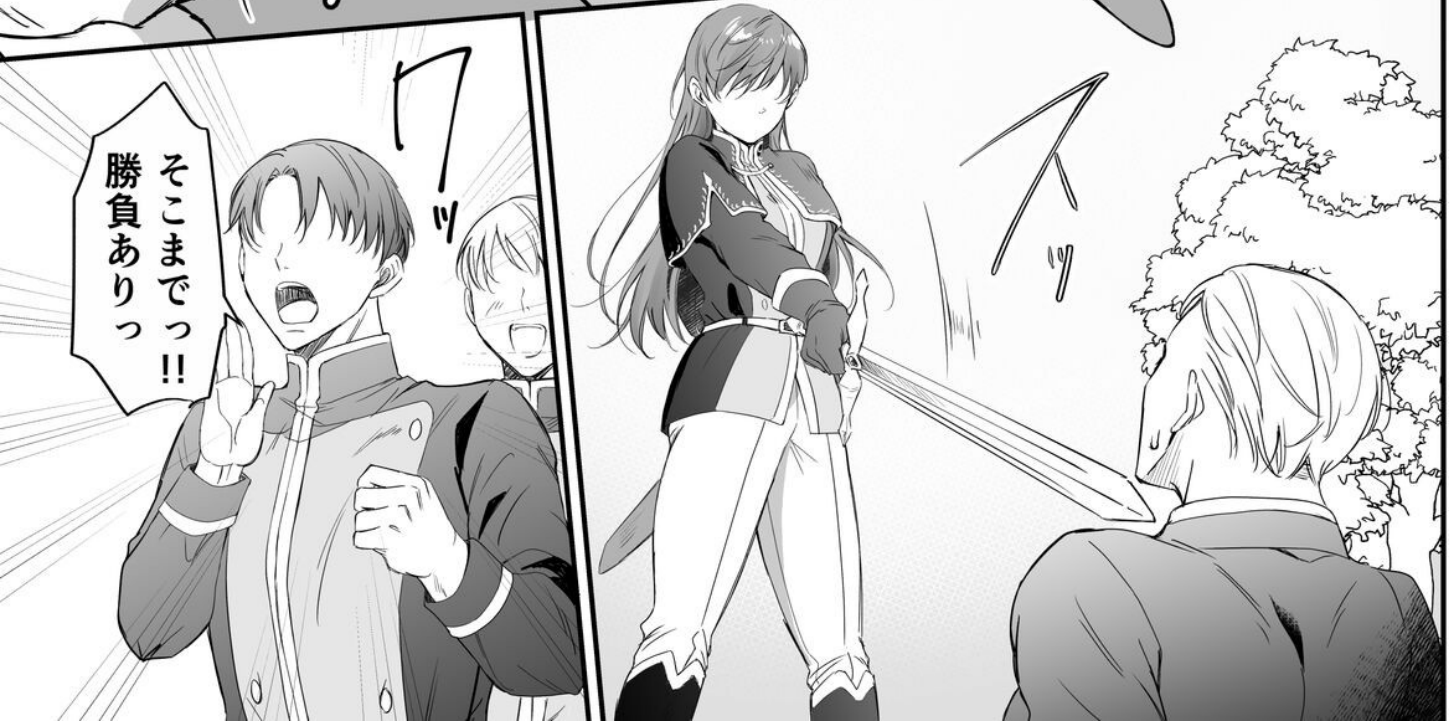
アレク・バンドール(29)

バンドール国王
エルジュの兄



ソフィア

ミラの幼馴染
同じ城でメイドとして
働いている





いえそちらこそ
素晴らしい腕前
いい勝負でした

さすが23歳という若さで
王専属の近衛兵に任命
されただけのことは
ありますな



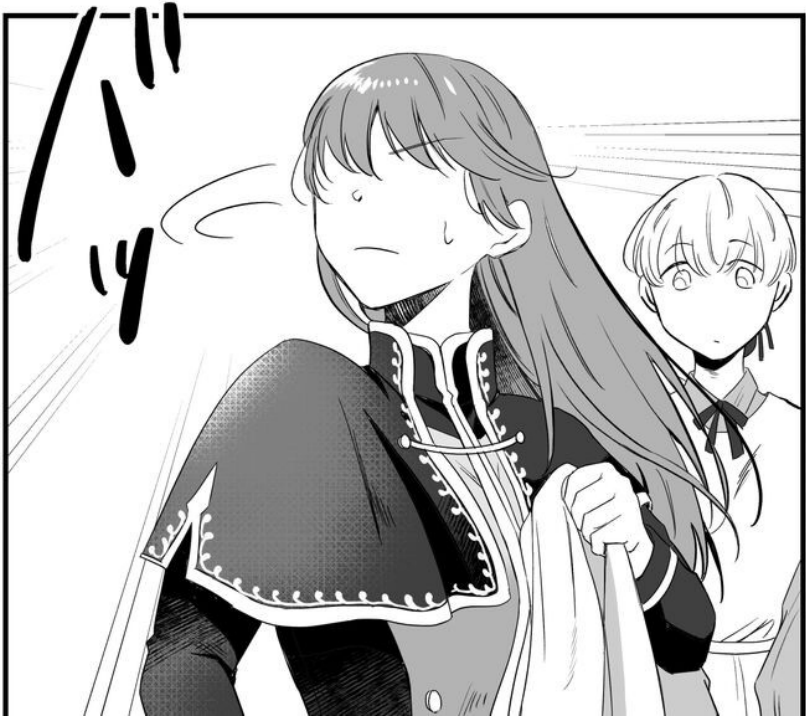
わあ
ミラすごいっ
これで10連勝!!



私の名はミラ・リゾット
このバンドール王国で近衛兵を
している女騎士だ

ソフィアいつも
応援ありがとう

はい、アール!
今日もすごい
恰好良かったよ!

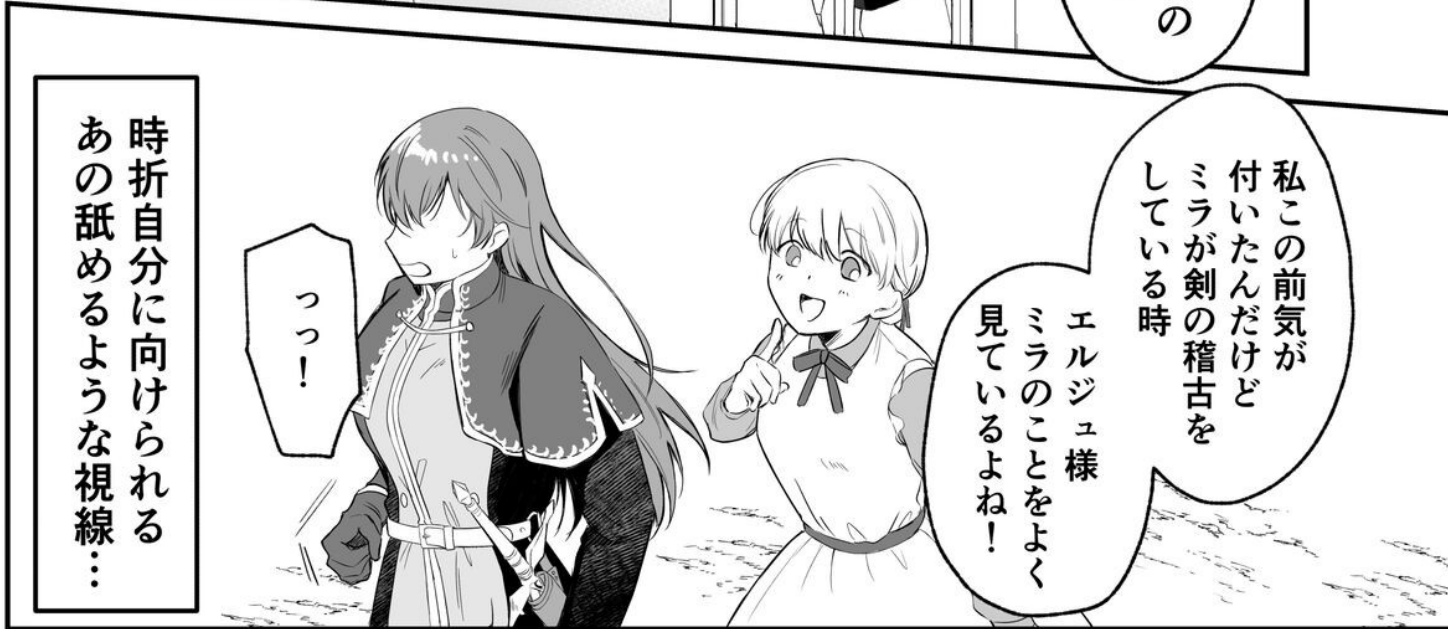


……





あれって第2王子の
エルジュ様じゃ…



私この前気が
付いたんだけど
ミラが剣の稽古を
している時

エルジュ様
ミラのことをよく
見ているよね！

っっ！

時折自分に向けられる
あの舐めるような視線…



あれは3年前
私が兵士としてこの城に
入隊したての頃…

そこまでっ
勝負あり！！



あの男
心底不快だ！！

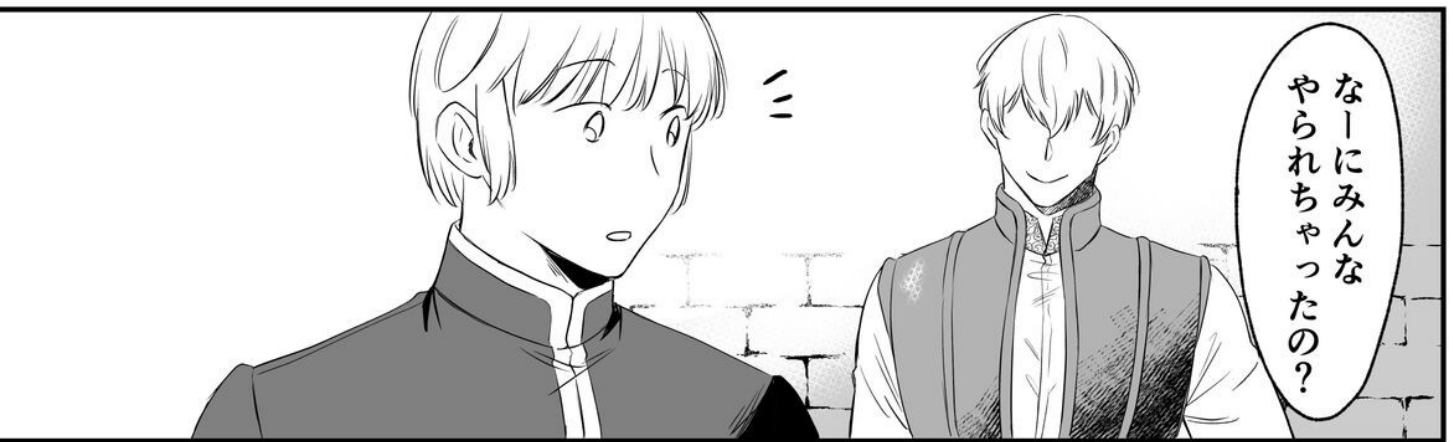


凄いなあのミラって新米男相手に連勝続きだぞ

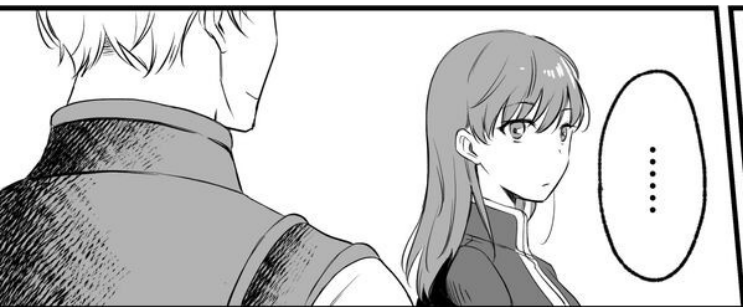
リゾット家は代々優れた兵士を排出してきた名家だ

女性も例外ではないってことか

…しかも可愛い



なーにみんなやられちゃったの？



……



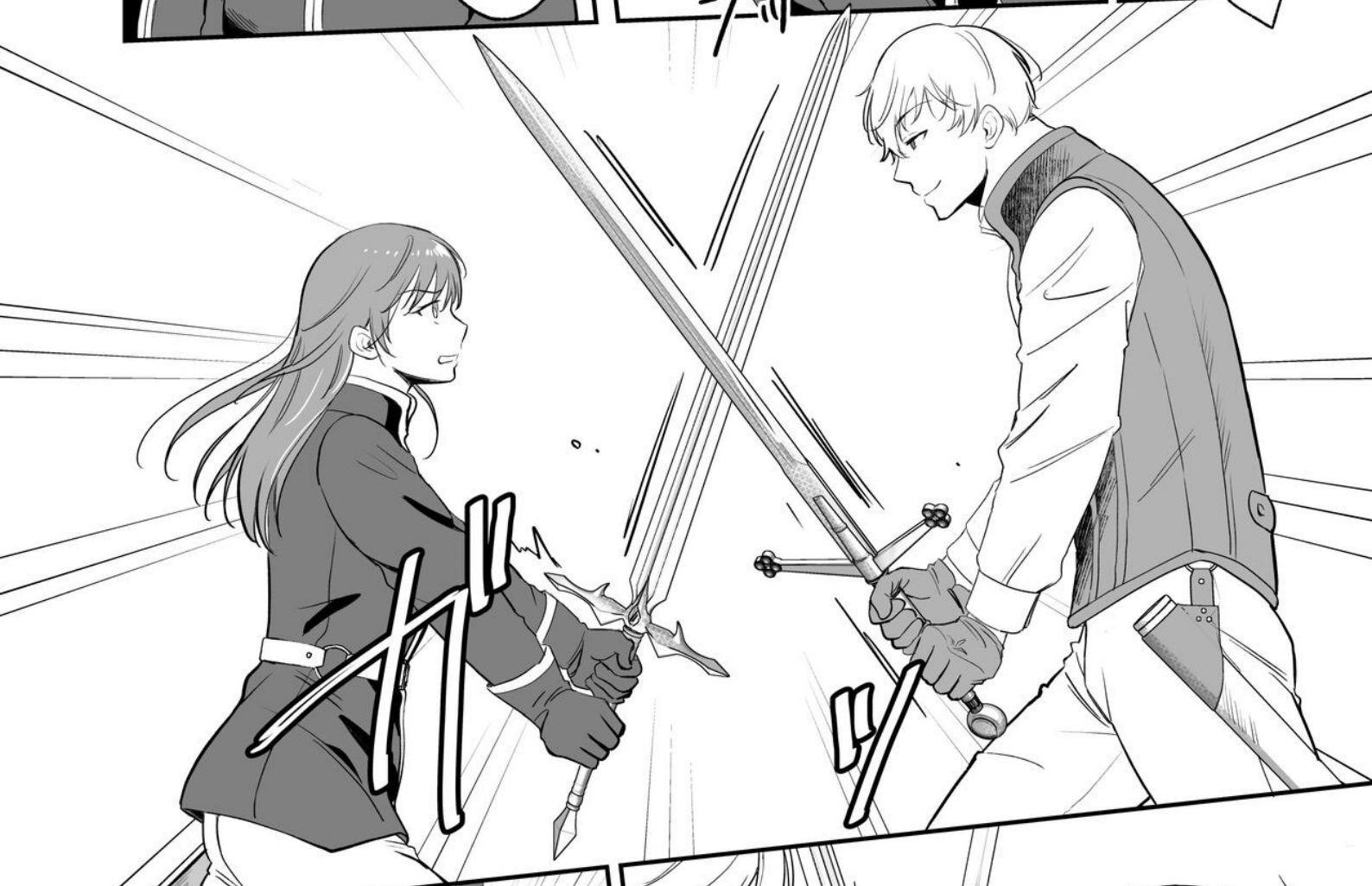
いいでしょうどなたか存じませんが勝負です!!

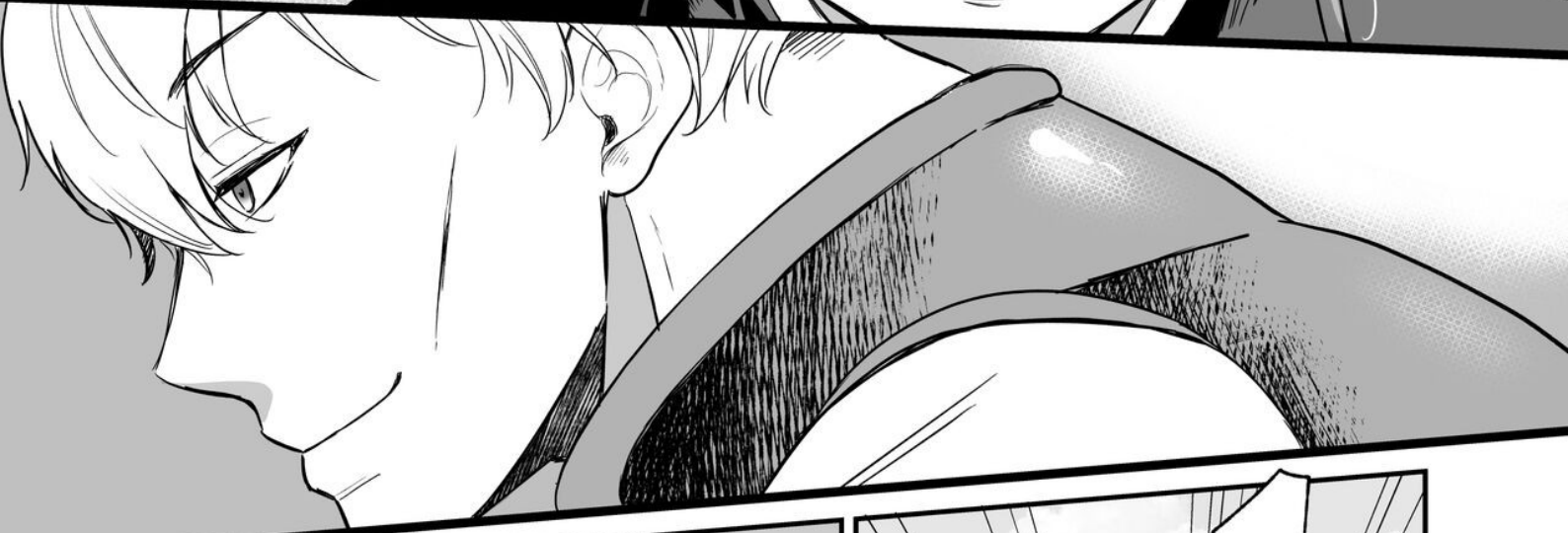
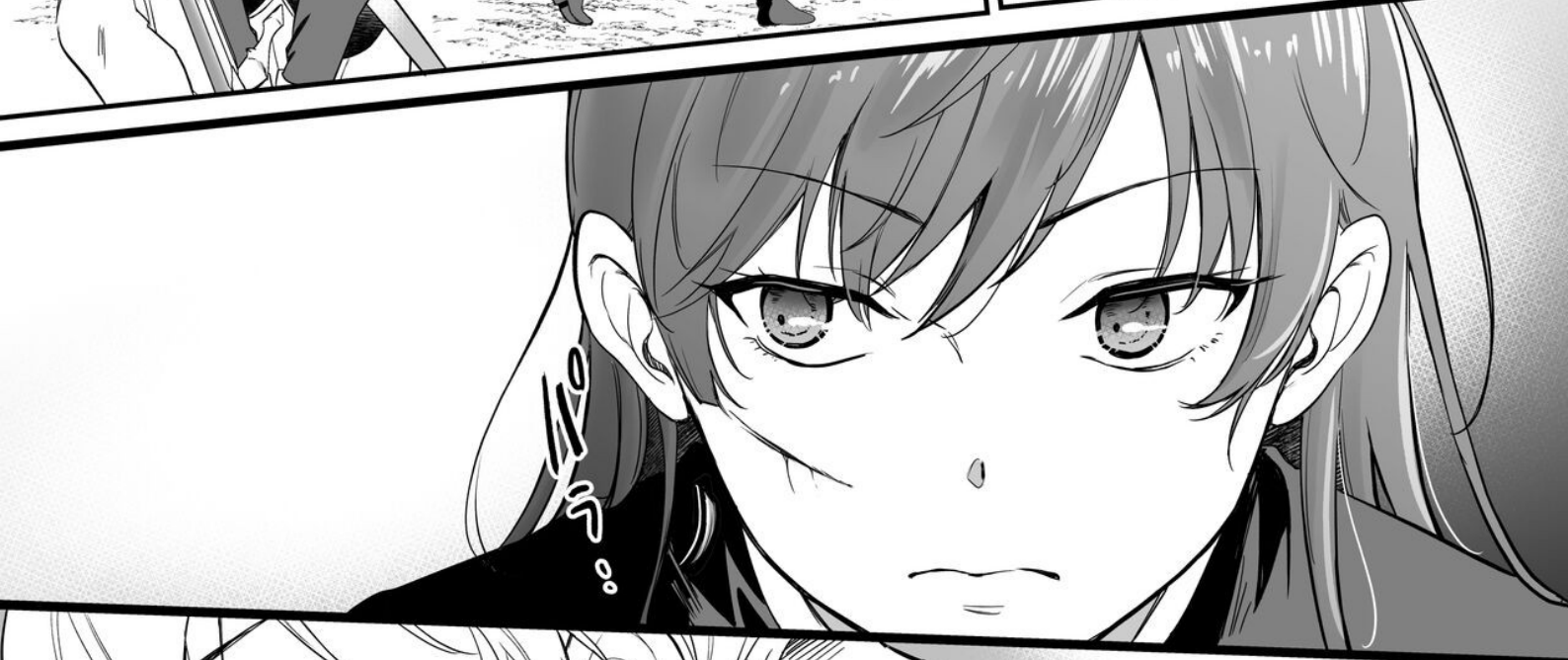
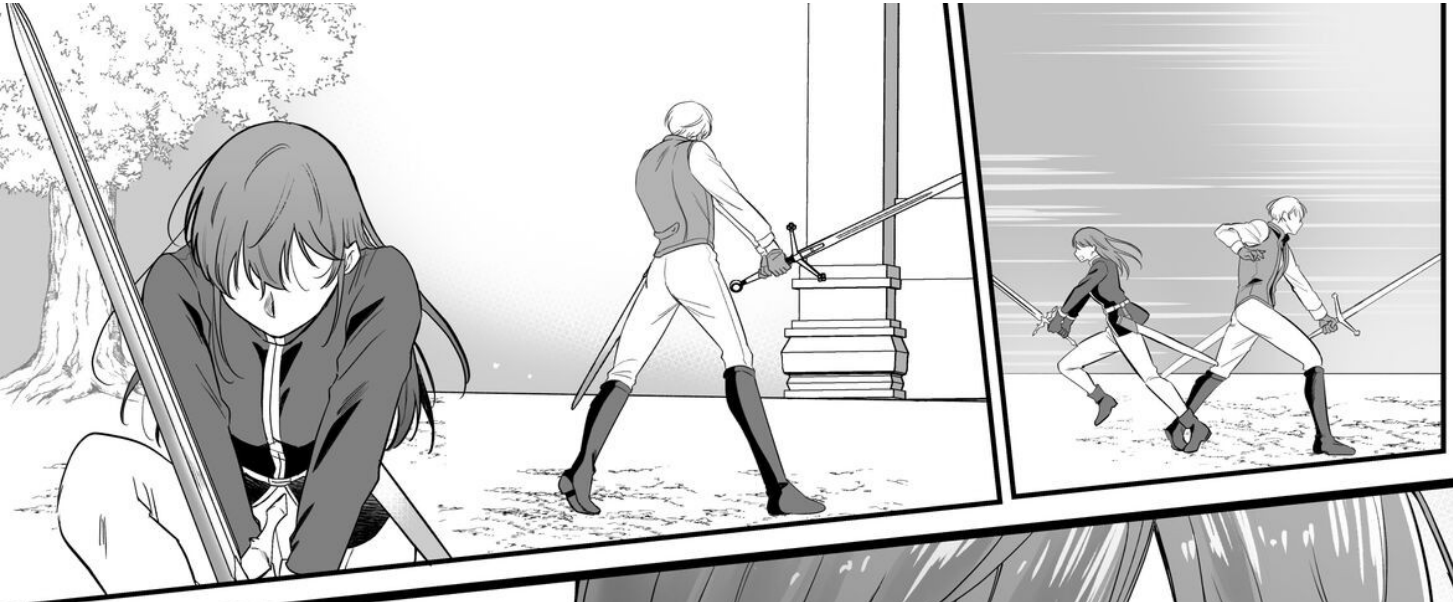
おいおい…ミラこのお方は…

ふふ威勢があっがいいね



…やあ君が強いとウワサのミラだねねえオレと勝負しない？







この俺と互角の
強さとは…

君ウワサに
変わらず強いね



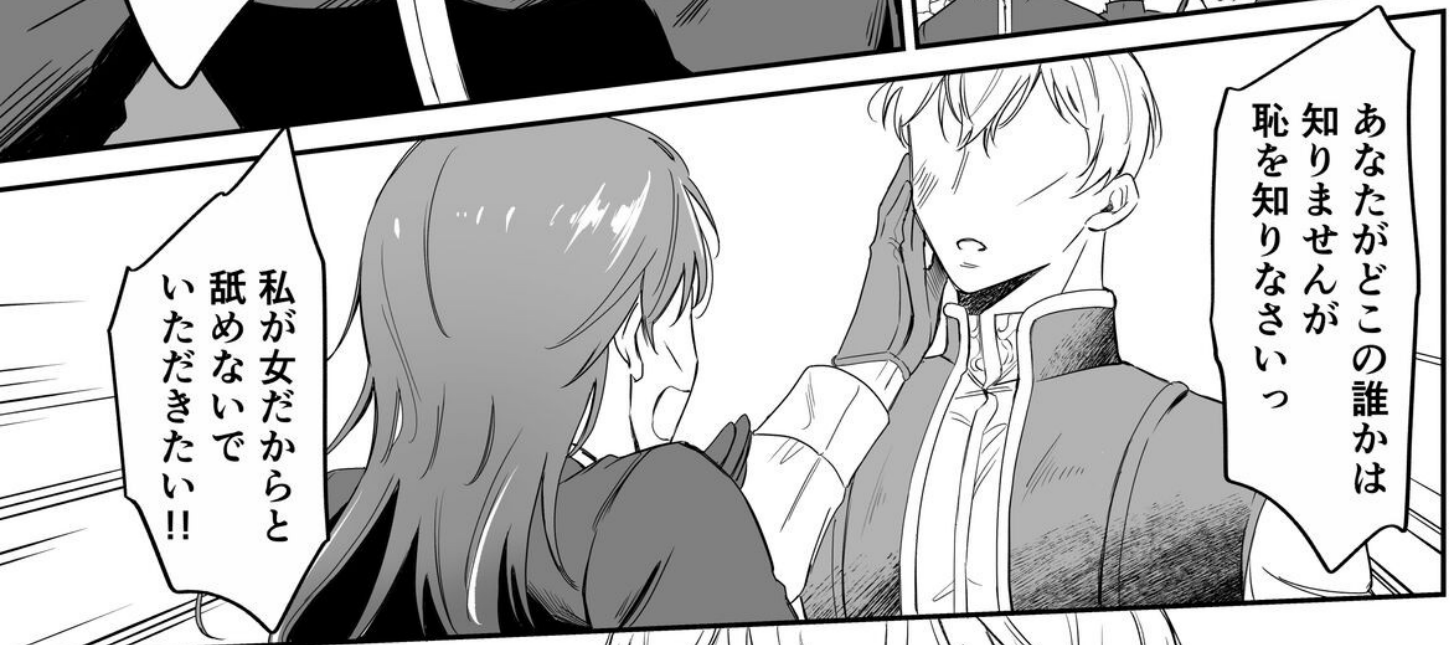
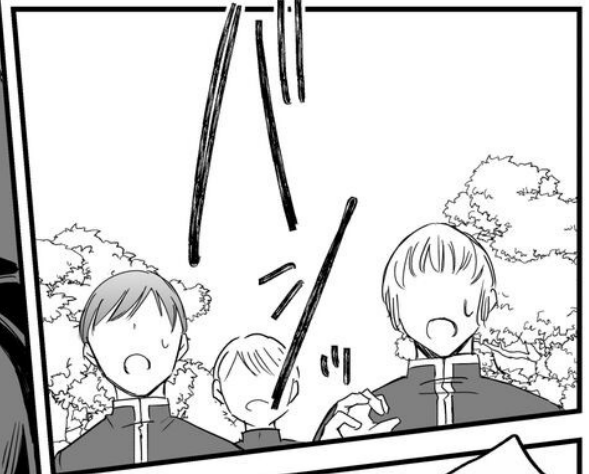
でも…

!?



君可愛いし
そっちの方で
食べていった方が
いいんじゃない？

よかったら
これから俺とどう？





申し訳ありません!!

??

このお方はバンドール王国
現国王アレク様の弟君
第2王子のエルジュ様だ!

んっ…
王子?

王子この者は
まだ城に来て日が浅く
とんだご無礼をっ

こんなヤツが
アレク陛下の弟…



オレはあまり
公の場に出ないから
知らなかったんだね

大丈夫
怒ってないよ
それより…

こらあつ
ミラっ!!



君面白いね
気に入ったよ

その後罰を覚悟したが
おとがめはなく

しかし別の問題が…

あの王子気がつくとも
私の後を付いてきたり

ふと誰かに見られてると
思い振り向けば
大抵王子が私を見ていて…

!?

居心地が悪く
逃走



そして今現在も弟王子の
嫌がらせは続行中…

聞けばあの王子
大の女好きとのこと…

お前気せ
つけろよー

ワーワー…

私はあの弟王子が
大嫌いだっつ!!

脳筋…

うーんミラって
鈍感だよー





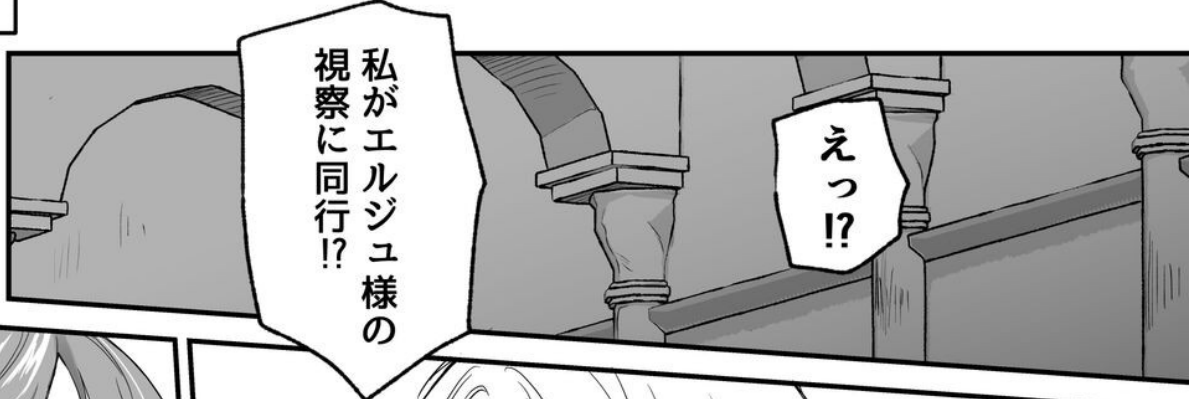
おいミラ
陛下がお呼びだ

休憩
おわーい

え？陛下が
私を？

できるだけ
関わりたくない男
エルジュエ王子

そう思って
いたのに…



えっ!?

私がエルジュエ様の
視察に同行!?



ダラ

ダラ…

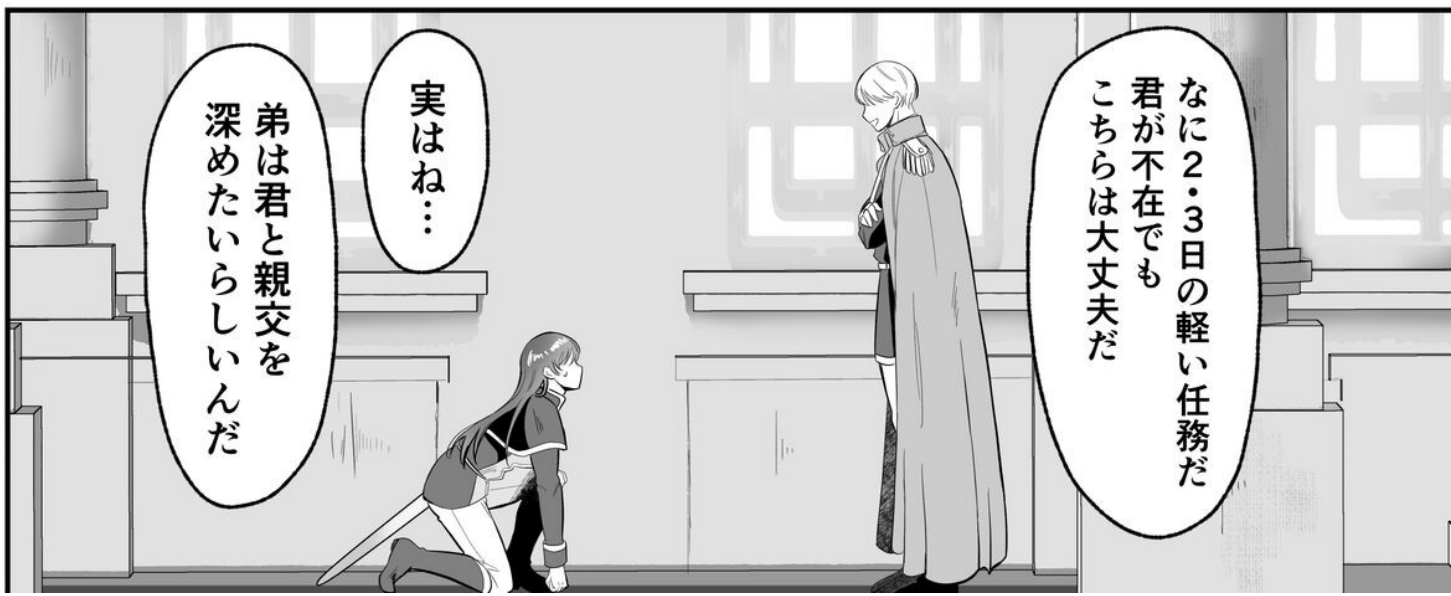
し…しかし私は陛下を
護衛する仕事か…



弟のエルジュエの
明日の視察に君を
同行させたいんだ

視察の間の数日間
弟の護衛を君に
お願いできるかな？

バンドール王国
アレク国王



なに2・3日の軽い任務だ
君が不在でも
こちらは大丈夫だ

実はね…

弟は君と親交を
深めたいらしいんだ



行って
くれるね??

うっ!



弟のエルジュは
友達が少なくて
心配していたんだが

いつのまにか友人が
できたようで兄として
嬉しいよ



なぜっ
このようにことにつ!?

……陛下のご命令
喜んでお受けします



視察当日…

いって
しゅーい!

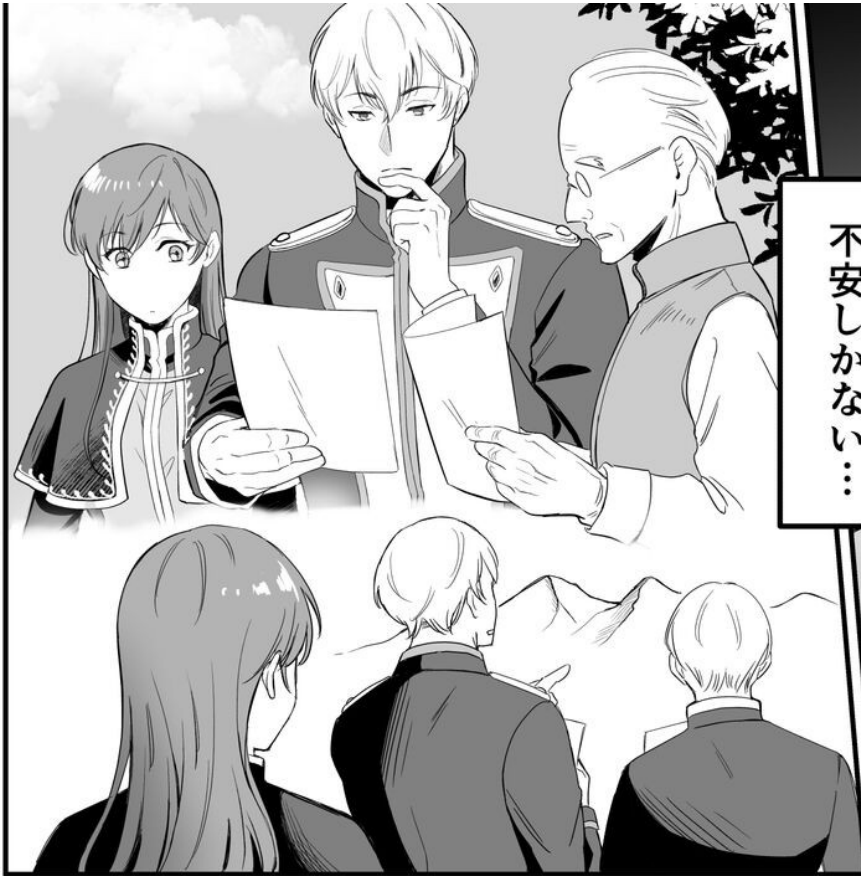


これから数日間
よろしくね



やあミラ…

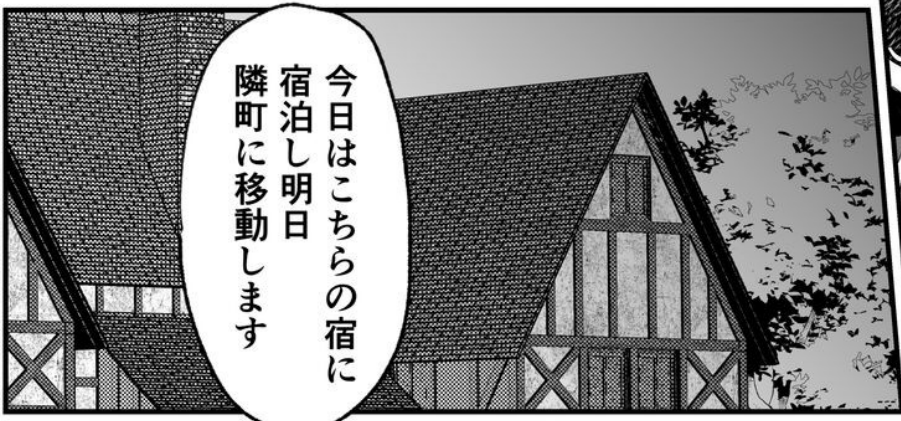
!!



この視察
不安しかない…



…よろしく
お願いします



今日はこちらの宿に
宿泊し明日
隣町に移動します

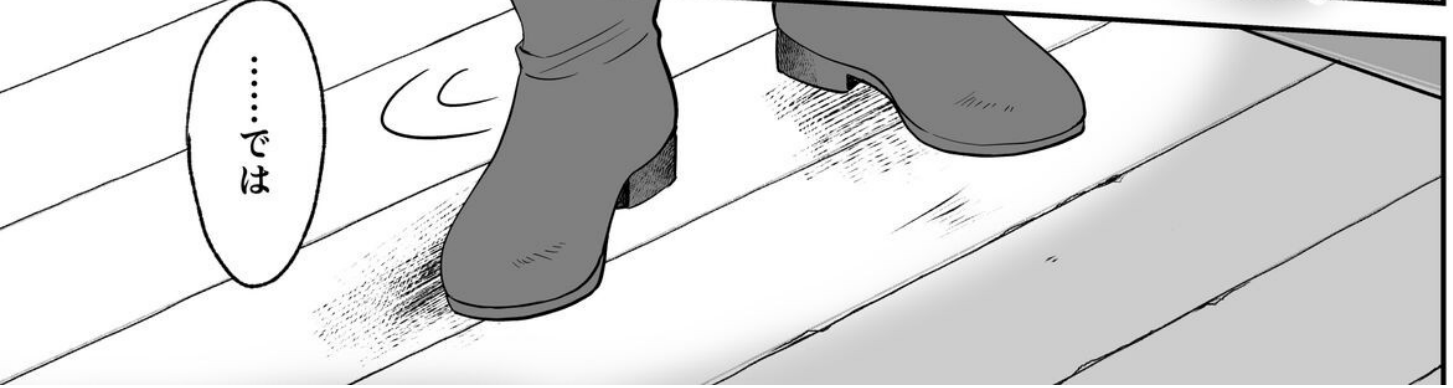
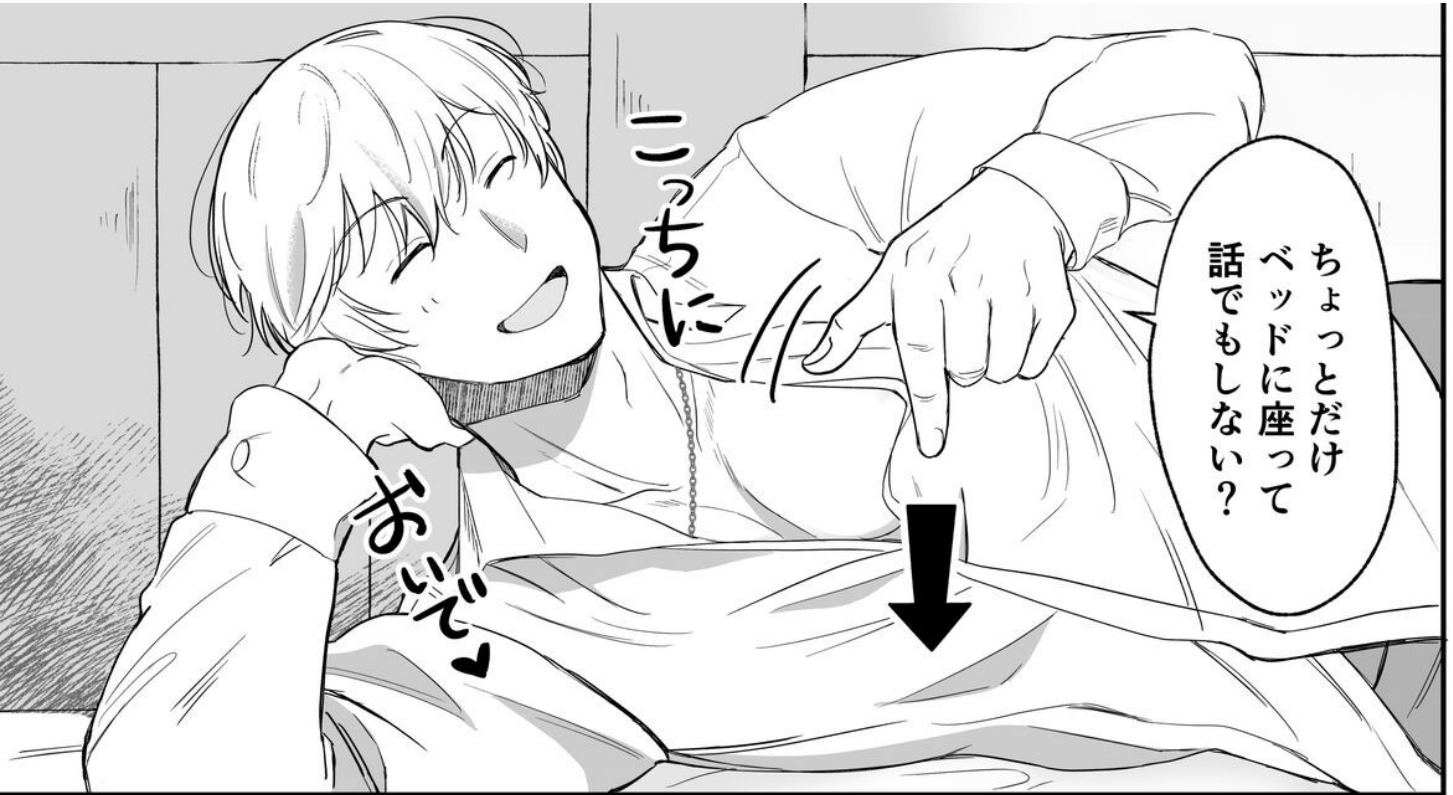


ねえ…



それでは私は
隣の部屋に
おりますので
何かありましたら
お呼び下さい

良かった…
一日目は無事に
何事もなく終わった



ガタ...



私はこちらに
おりますので
エルジュ様はどうぞ
お休みになられて下さい



なにかおかしい
ですか!?

.....
っ



お戯れが
過ぎますっ

...今回のような
お考えで私を護衛に
付けたか分かりませんが



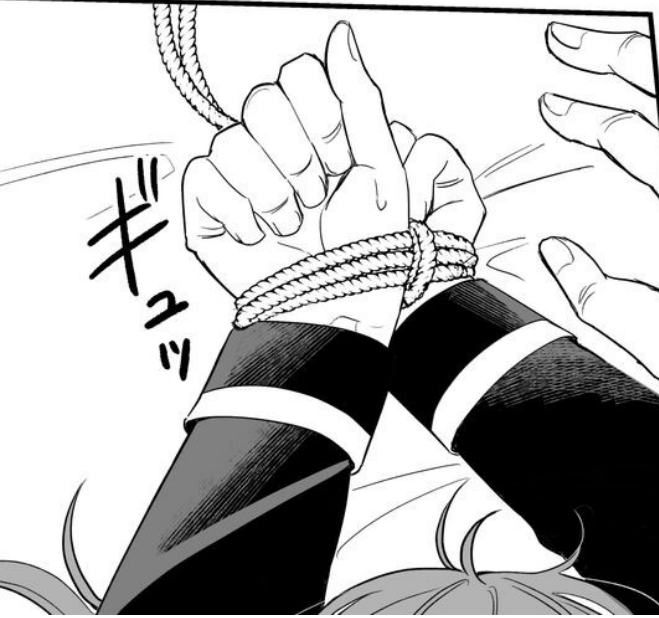
...いやごめん
君らしいなと思って



やはり私は隣の部屋にー



戯れなんかじゃないよ



ちょっとごめんねー

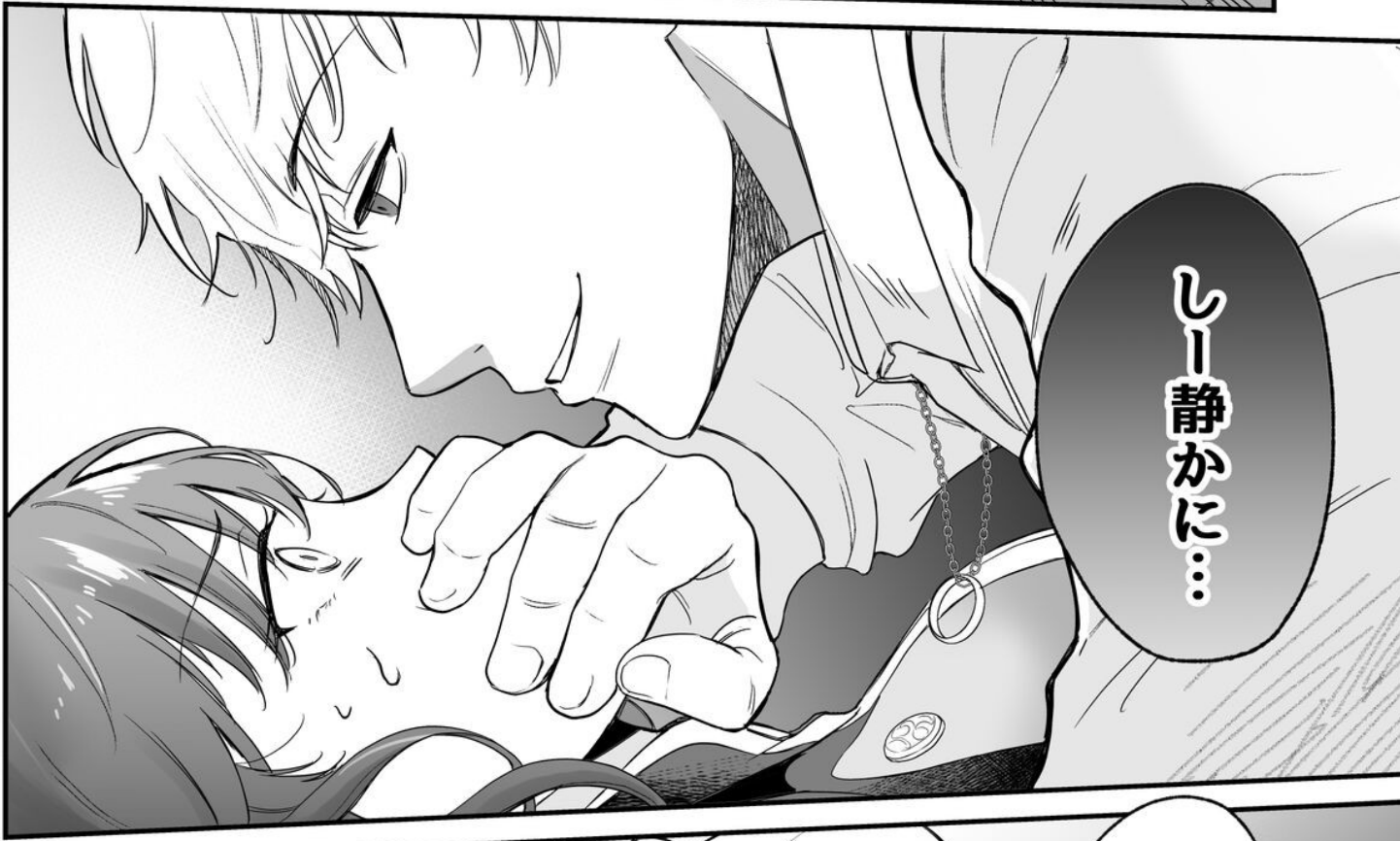
っやめっ!!



!?



だれかっつ



しー静かに…



助けを呼んでもいいけど俺はこの国の王子

誰も俺をとがめることはできない

それとも誰かに見られながらしたい？

っつ



つつ今すぐ縄を
ほどいて下さい!!



君は強いから
これくらいしとかなないと
逃げるでしょ



3年前の一件から
君が俺を避けている
ことは知ってるよ

だからこうして
2人きりになれる
機会を伺っていたんだ



絶対に
逃がさないよ

大丈夫安心して…
気持ちよくして
あげる——



あつやあつ

ちゅん

ちゅ



ちゅく...

ちゅく...

ーっ

ロクッ

っあっ!

はあ...

ちゅく...

っ...



すごいキレイな色
してるね...

ちゅく...

四六時中兄さんの
護衛をしているから
兄さんとそういう仲
なのかと思っていたけど

はじめてみたいで
嬉しいな

ちゅく...

はあ...



っ

やっと素が
出たね

威勢のよさは
相変わらずだ

っっ陛下は
そのような方では
ありません!

お前とは
ちがうっ!!

はっ

はあ...

はあ...

ちゅく...

ちゅく...

でも君
兄さんのこと
好きでしょ？

兄さんは君の
気持ちに気づいて
ないみたいだけど

ちがうっ私は
ただ陛下を
敬愛してっ

ずっと君を
見ていたから
分かるよ

いつも兄さんの
前でだけ恋する
女性の顔をしている

あっ？

ごめんね少し
我慢してねー

兄さんは
もう結婚してるし
来年には世継ぎが
産まれる予定だ

報われない恋だよ
だから独身者同志
仲良くしよう？

あ…何…
痛っ…

あーっ
あーっ
あーっ

しゅん
しゅん

しゅん

しゅん



だれがお前と
なんかっ!!

あっ...??

あっ

やっ



...ああ
ここだね

あっ
びんぎっ
わっなにっ!?



がキ
わっ
わっ



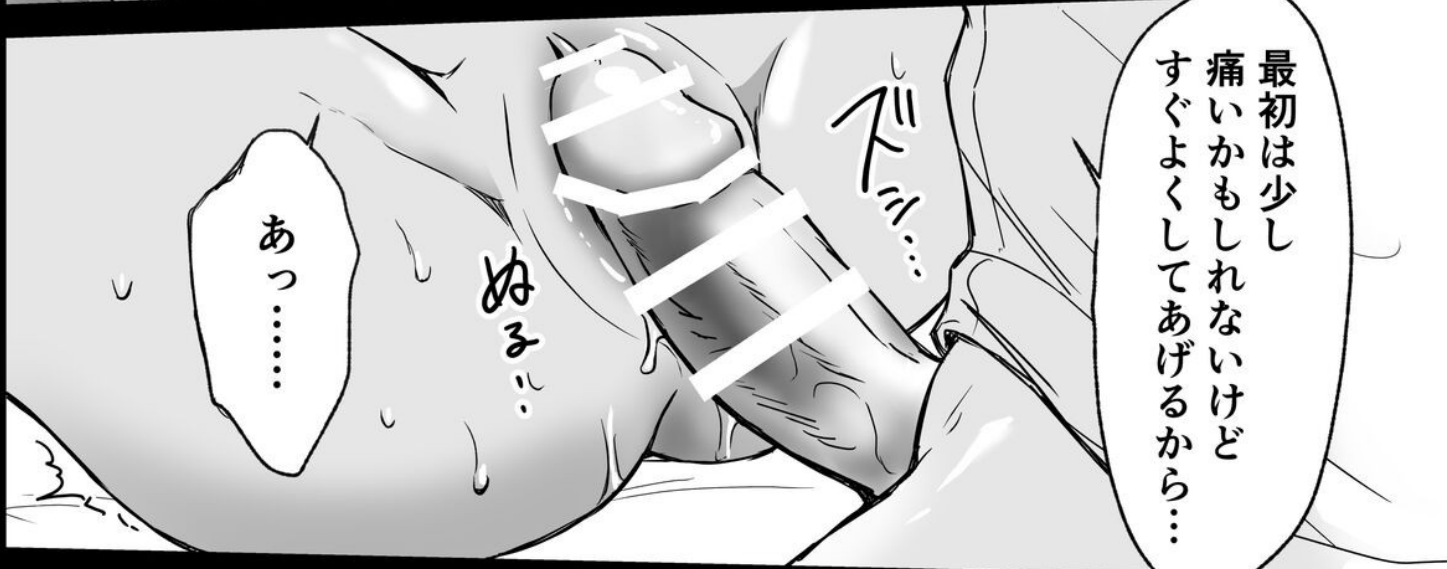
君のイイところ♡

がキ...



これが…イク…？

すごい…はじめてで
ナカで軽くイッて
感じやすい身体なんだね



最初は少し
痛いかもしれないけど
すぐよくしてあげるから…

あっ……

ぬる…

ズッ…



やっつやめっ!!

ズッ…

ヒクッ

ヒクッ



フッ
フッ
フッ
フッ



あつやあつ

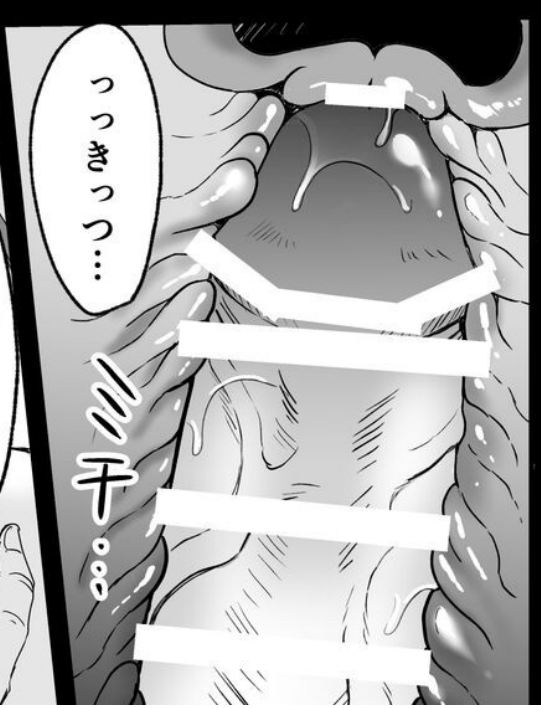
ぬふ

うん

うーん
やっぱり狭いね



つつあ...



つつきつつ...

干



あ…そうだ



ずっとこうして
君のナカに
入りたかったんだ…

すごい気持ちいい…
少し大きく動くよ



オレ兄さんと外見は
似てないけど声はよく
似てるって言われるんだ



どう？
似てるでしょ？

…っっ



ミラ…



あっ…



ミラ…



ミラ…



やあー！

ははっ
ちゅっ

ははっ
ちゅっ

ははっ
すごい…
ナカの動き
変わったね

俺のを喜んで
飲み込んで
絡みついてくる♡

さすが日頃鍛錬
しているだけあって
締まりがいい

最高の身体だ

あっ

ははっ
ちゅっ

っっ

やっ

ははっ
ちゅっ





もつとひどく
したくなるっ!

やあああ

ま



…だすよっ

コため

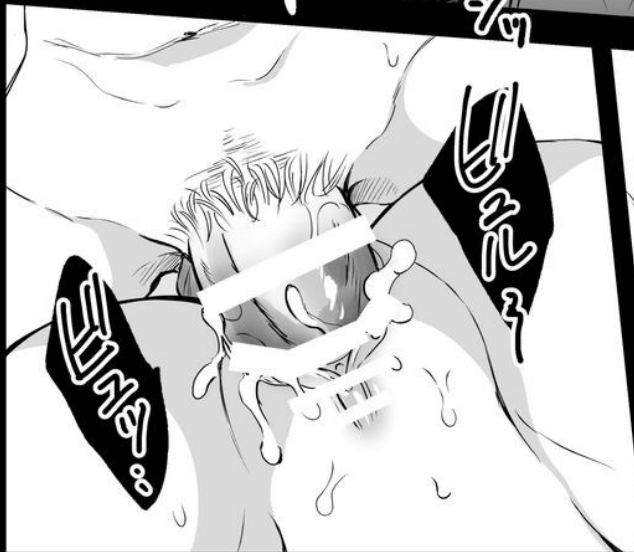
ひあ



!?

やっ
それだけはっ
ナカはっ
やめてっ

やめ



ただ思うだけで
幸せだった...

私は陛下のことが
好きなのに...

...最悪だ



大丈夫君が
おとなしく
従ってくれるなら

このことは
二人だけの
秘密にするよ
だから…

これから
よろしくね…



ちゅ…
すごい
よかったよ

…それなのに

こんな悪夢
ありえない

それからと
いうもの…

あ…



視察中も…

やあつ

胸感じる？

どんどん
気持ちいいこと
覚えていこうね…

ちゅぽん



エルジュ王子は
私を頻繁に
抱くようになり

ちゅぽん…
や…

そして城に帰還後も
毎夜王子に抱かれる
日々が続く――

王子の寝室にて

飲み込みが早くて
嬉しいよ……また
ナカでイキそう？

ううっ……

あ……

や……

これは王子の一時の
気まぐれ……
私のような女が
珍しいだけだ

王子が飽きる
までの辛抱……

そう思って
いたのに……

ミラー
どこにいるのー？

わっ私なら
ここだっ!!

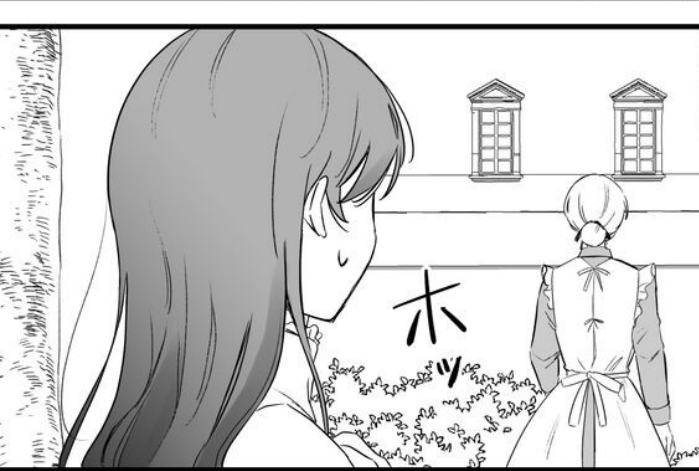
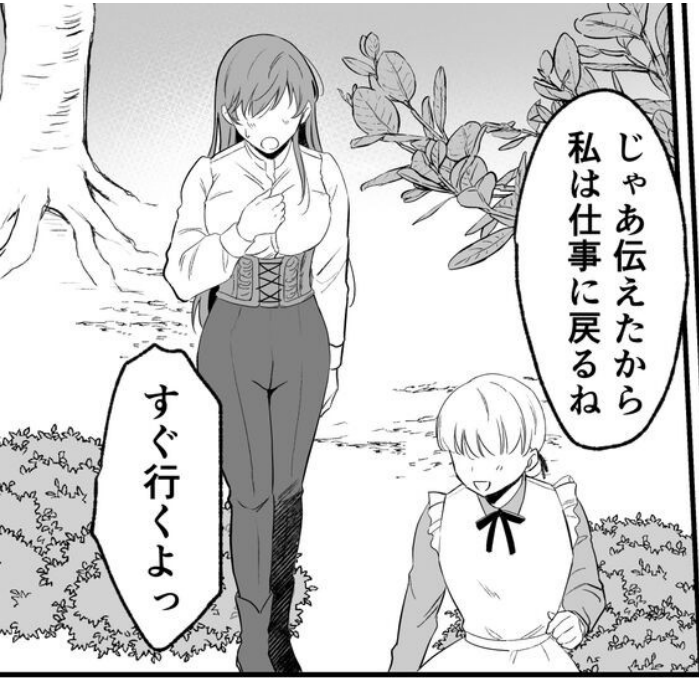
がサ

がサッ

よかったすごい
探したよ!

今日ミラー休みだけど
隊長がミラーに
頼みたいことが
あるんだって

……あれ？



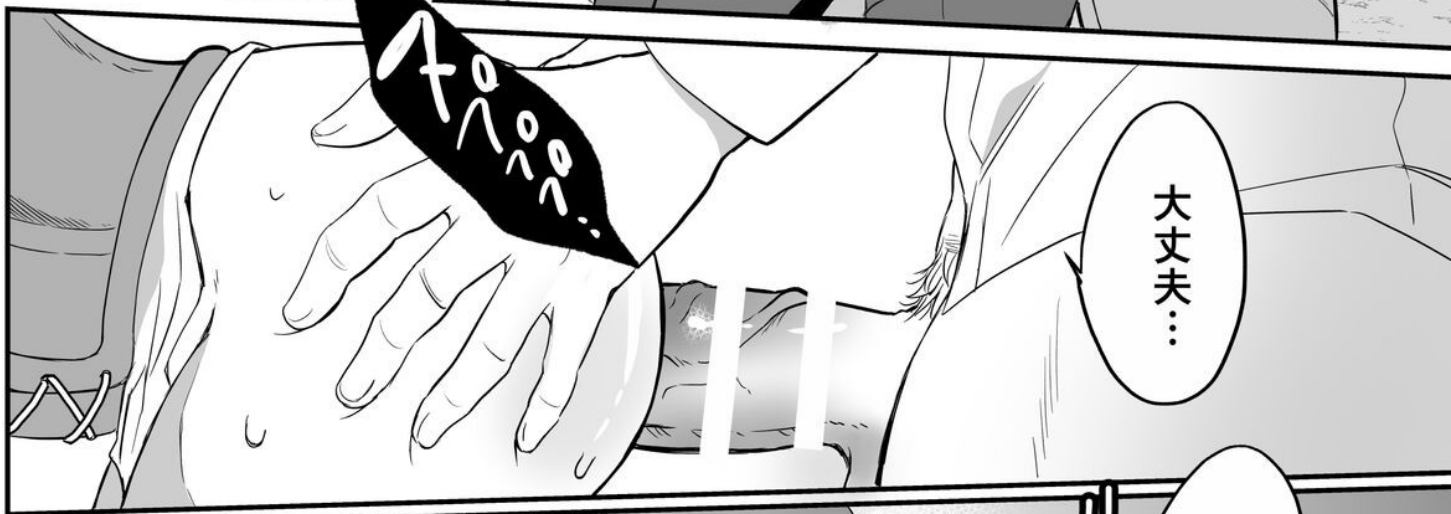


もう
行かないと！

そんなこと言って
君も途中で止めたら
困るんじゃない？

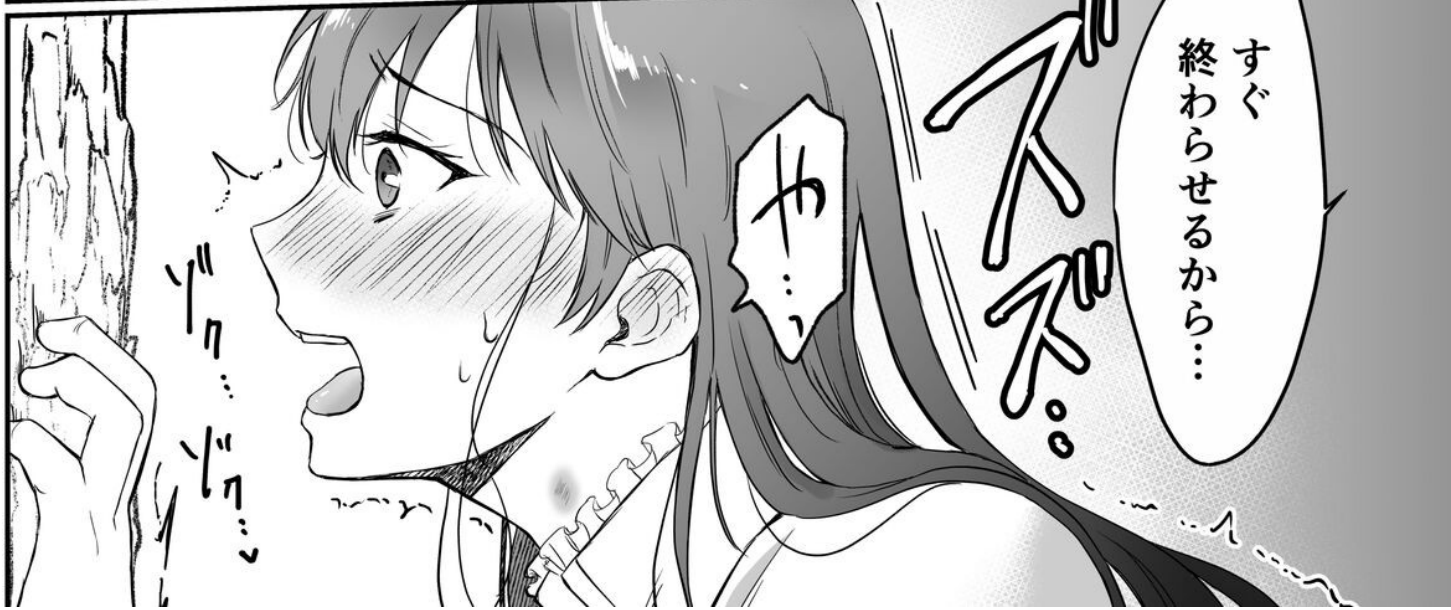
ほらそこに
手をつけて

あっっ



大丈夫…

すぐ
終わらせるから…



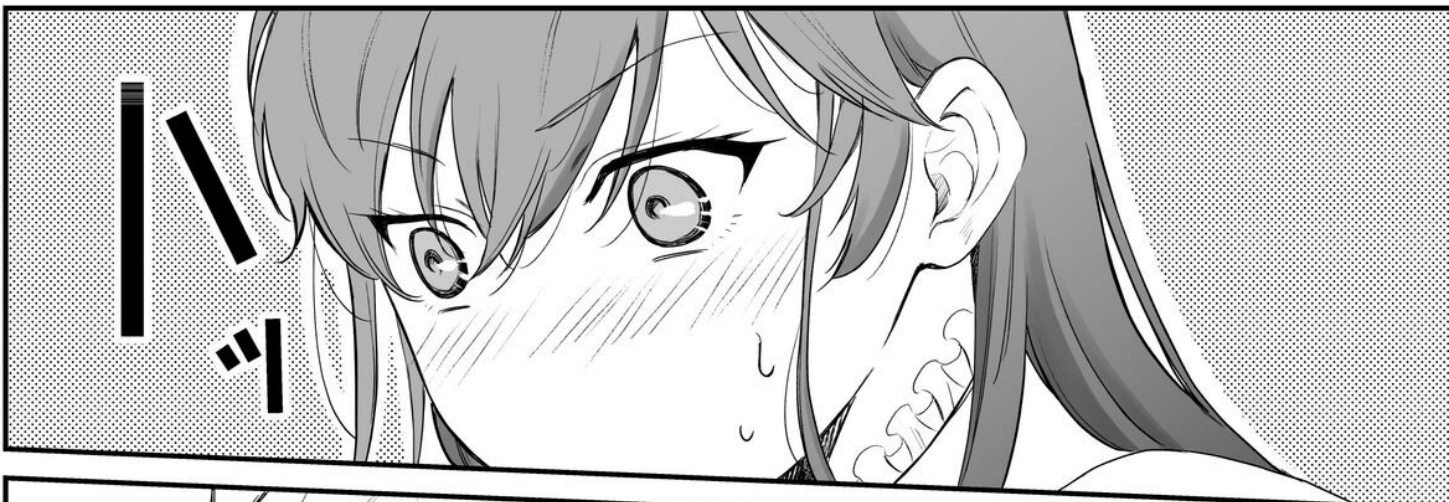
わ…

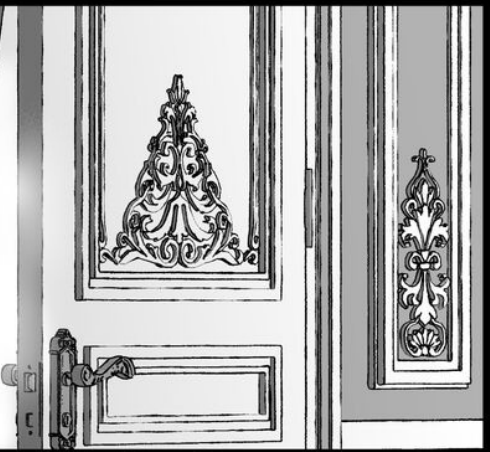
ムク…ムク…

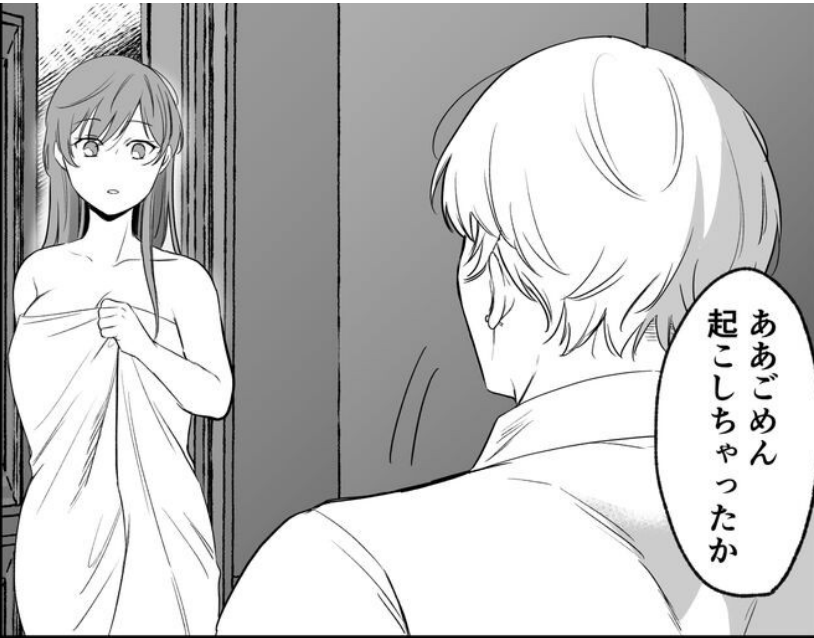


ほら早く行かないと
いけないでしょ？
もっとナカを締めて
俺を早く
イかせないってっ











兄上とは腹違いの兄弟なんだ
母はこの城で働くメイドだった

母は父からの寵愛は受けてはいたけれど
俺たち親子は何も後ろ盾がなく

幼少期の頃の俺はほとんどいない存在として扱われていたんだ



でもそんな俺に兄は普通に優しく接してくれた

だから今兄上の役に立ちたくてこうして勉強して兄上の仕事を手伝っているんだ

まあ見よう見まねで役に立っているか分からないけど…



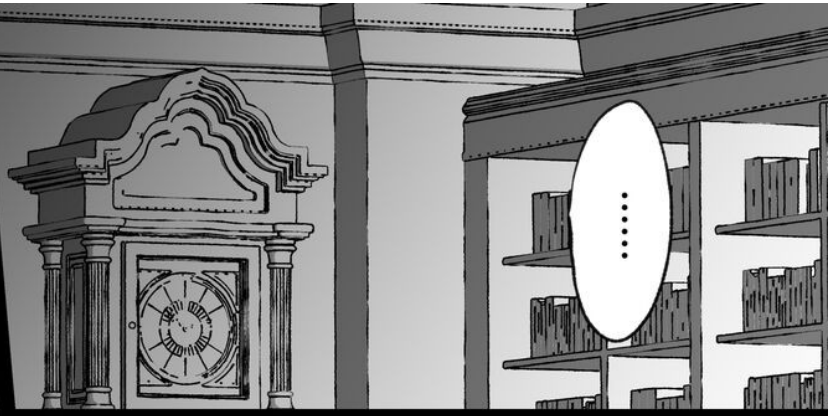
エルジュ

この指輪は貴方がいつか愛する人に贈りなさい

いつも身に付けているこの指輪はね
俺が小さい頃に亡くなった母の形見なんだ



王子は…ちゃんと
皆の役に立っていると
私は…思う



そんなことないっ

え…?

ちょっとらしくない
話をしてしまったね



だから…



私は専門知識とか
ないから詳しいことは
分からないけど

この間の視察も
役人に指示していた
こともすべて適切
だったと私は思う…



もっと自信を
持っていていいと思う



そうだ君に
渡したいものが
あるんだ

…ありがとう



開けてみて



そう俺と
おそろいの
デザイン

…ピアス？





本当は長い髪がキレイだから髪飾りを贈りたかったんだけど

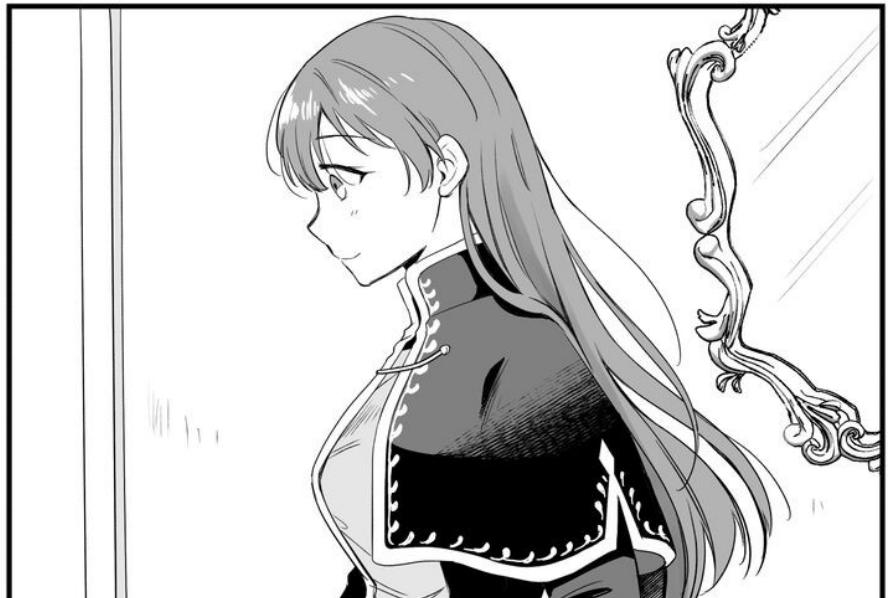
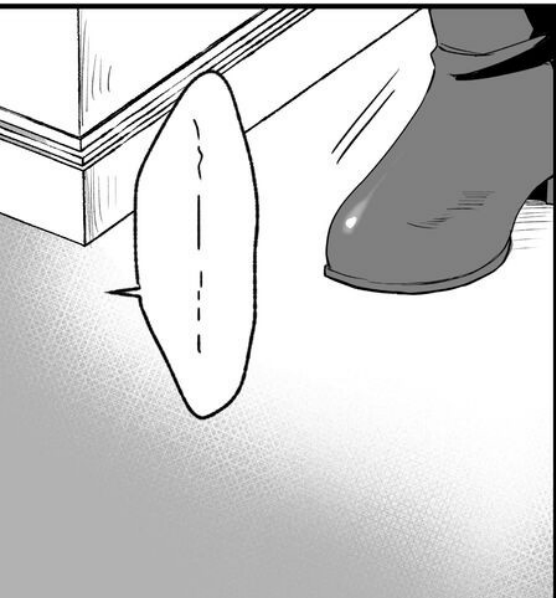
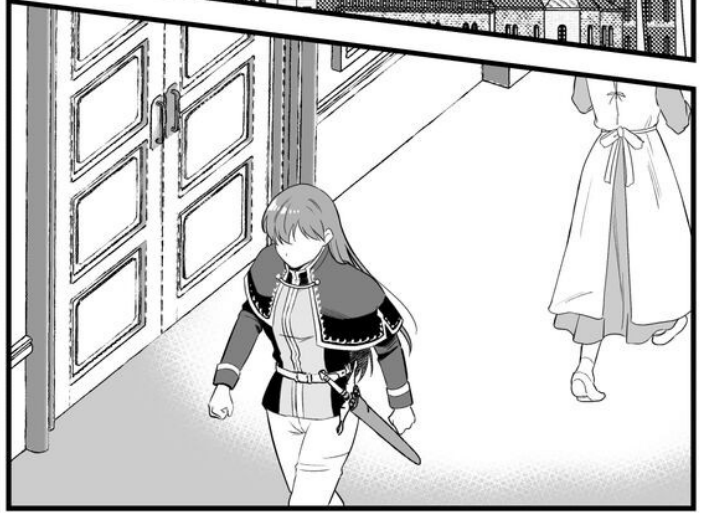
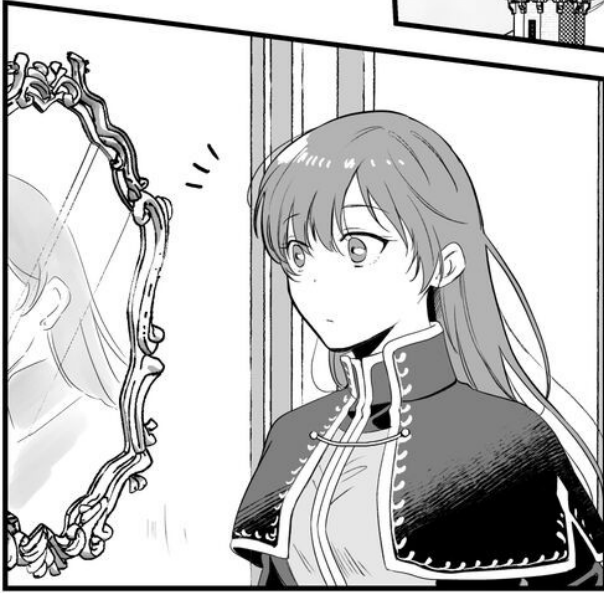
仕事の邪魔にならないようにピアスにしたんだ

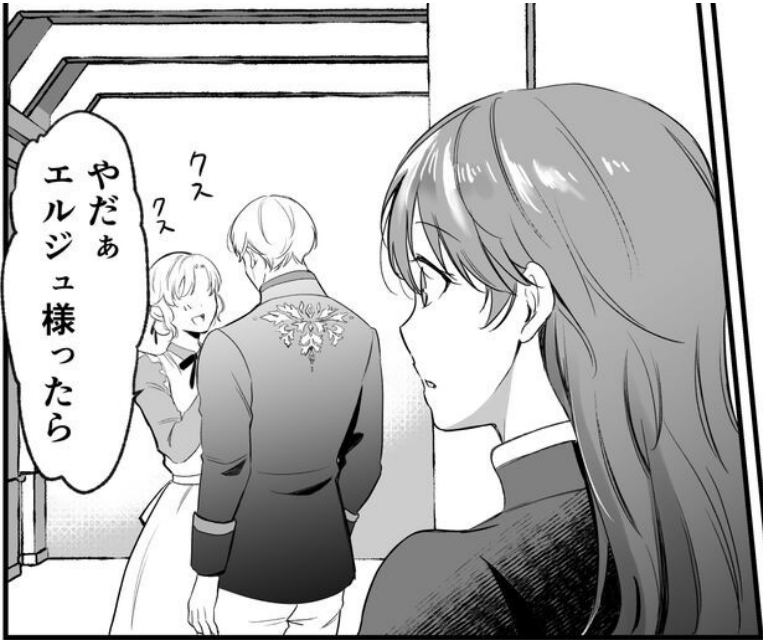
……なんで私に

なんでだろうね

クス…

さあ…





やだあ
エルジュ様ったら

クス
クス



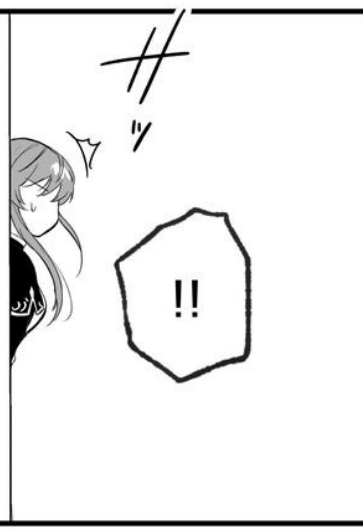
エル...

エルジュの声



それよりまた
昔のように私を
夜お呼び下さい

私あの夜以来
エルジュ様を
忘れられなくて...



ハッ

!!



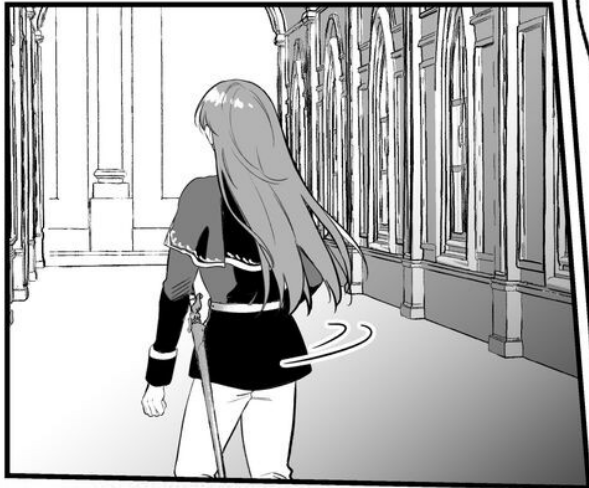
ではまた...
失礼します



...



またお相手できたら
嬉しいです



そうだ私は
ただの兵士で

エルジュにとって
多くの女性の一人に
すぎない存在...

私は何を
期待して...



ちゅん

んっ

ちゅん



どうしたの？
今日は気分
乗らない？

やっ!!

あっ



エルジュにとっては
ただの遊びかも
しれないけど

正直あなたの
相手をするのは
もう疲れた…



…エルジュ
もうこんな関係
今日でやめよう



これまでのことを
言いふらしたいなら
言えばいい

もう嫌なんだ
エルジュに
振り回されるのは
今日はそれを
言いに来た



この数か月
腑抜けてしまった
自分を律するため
今日陛下に隣国との
国境遠征の出兵届けを
出してきた

!?

あそこは死者も
多数出ている
激戦区だぞ!!

陛下は納得していない
ご様子だったが
私は行くつもりだ
だから—



っっ!!



.....

もうここには..
エルジュ?



...ねえ



それ本気で
言ってるの？



君が俺の元から
去るなんて
許さない!!



…何か勘違い
しているみたいだけど

君に決定権は
ないんだよ



遠征なんか
行かせるものか!!

やっ



口では
嫌がっているでも
身体は正直だ

ぬちゅ...

あーっ...

あーっ...

あーっ...



あーっ...



俺のを喜んで
くわえこんで
締め付けてくる

あーっ...

あーっ...



っっ一番奥に
出すよー!

あーっ...

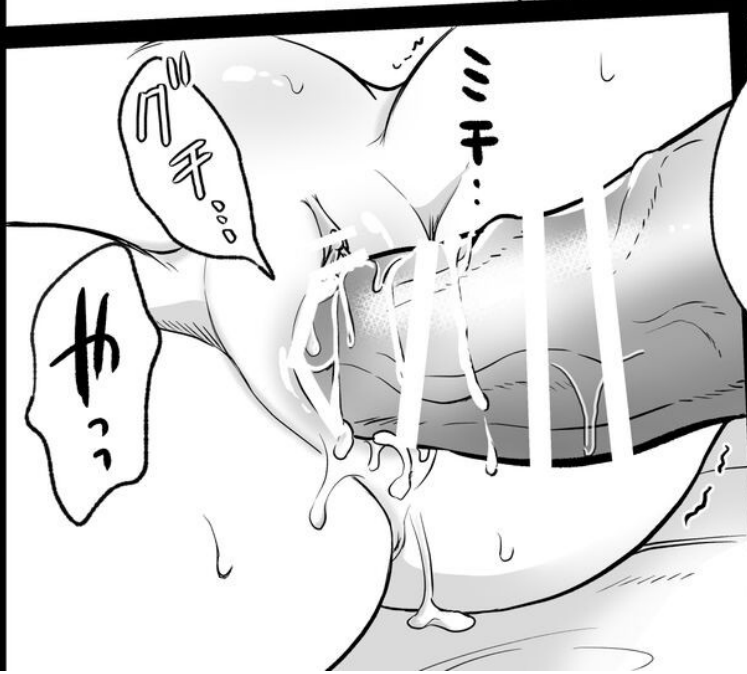
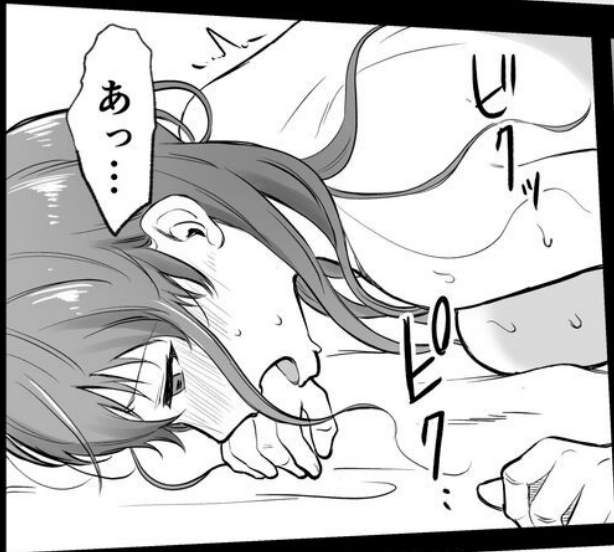
あーっ...

あーっ...

あーっ...

あーっ...

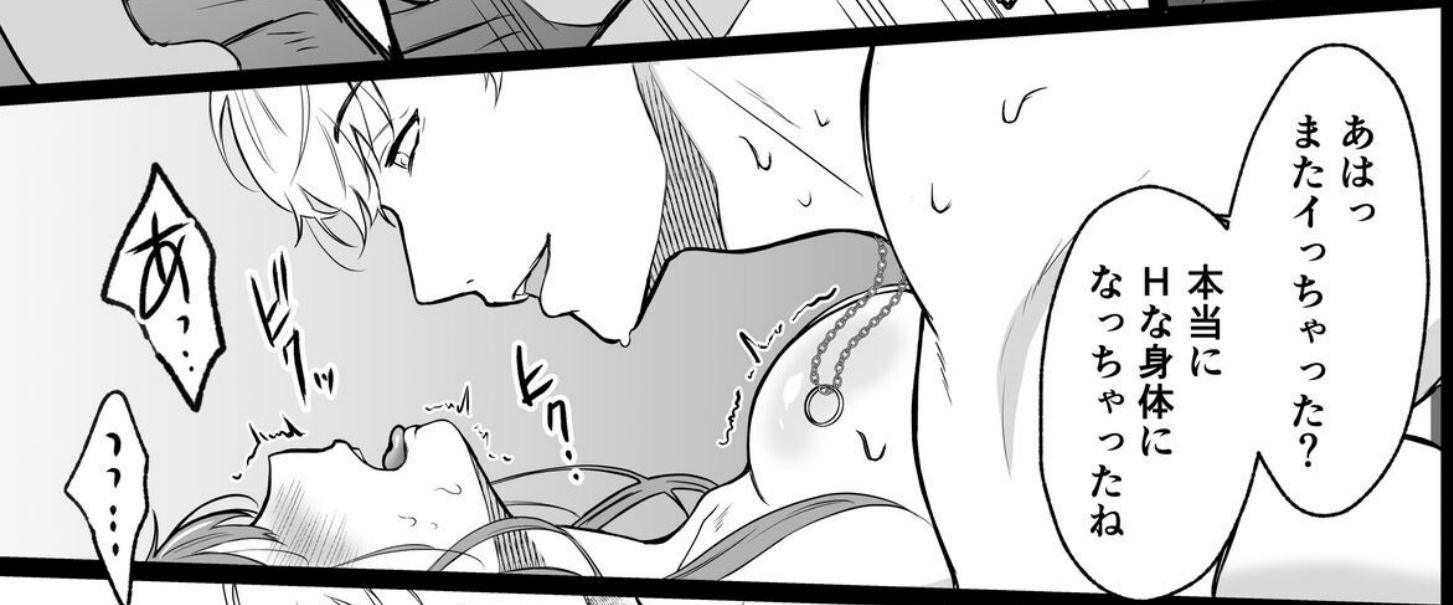
あーっ...





だめっまだ
イってるからっ!!

ミニキ...
ミニキ...



あはっ
またイっちゃった?

本当に
Hな身体に
なっちゃったね

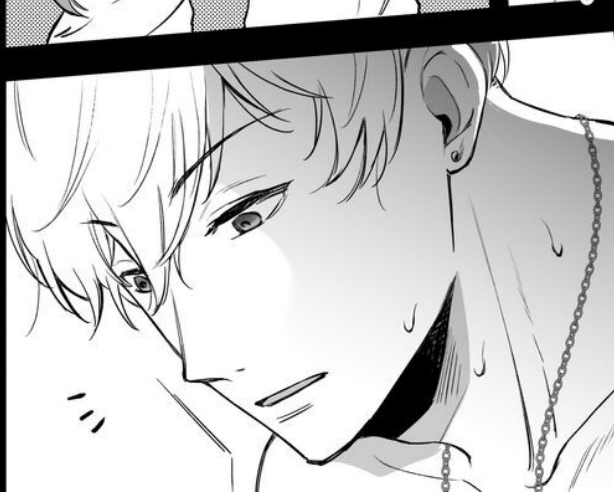


やめてっ
動かないでっ

こんな身体で
戦地になんて
行けるのかな?

ははっ...

ちゅ

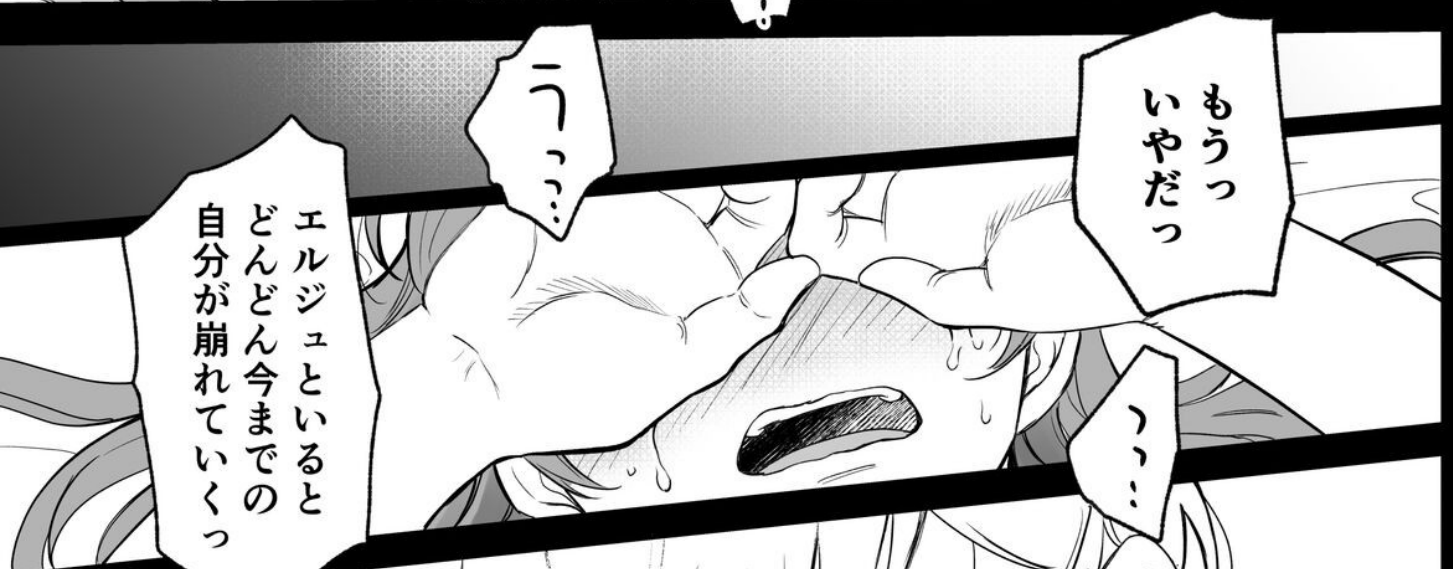




泣くほど
俺に抱かれるの
イヤ？



—そんなに



もうっ
いやだっ

エルジュといると
どんどん今までの
自分が崩れていくっ



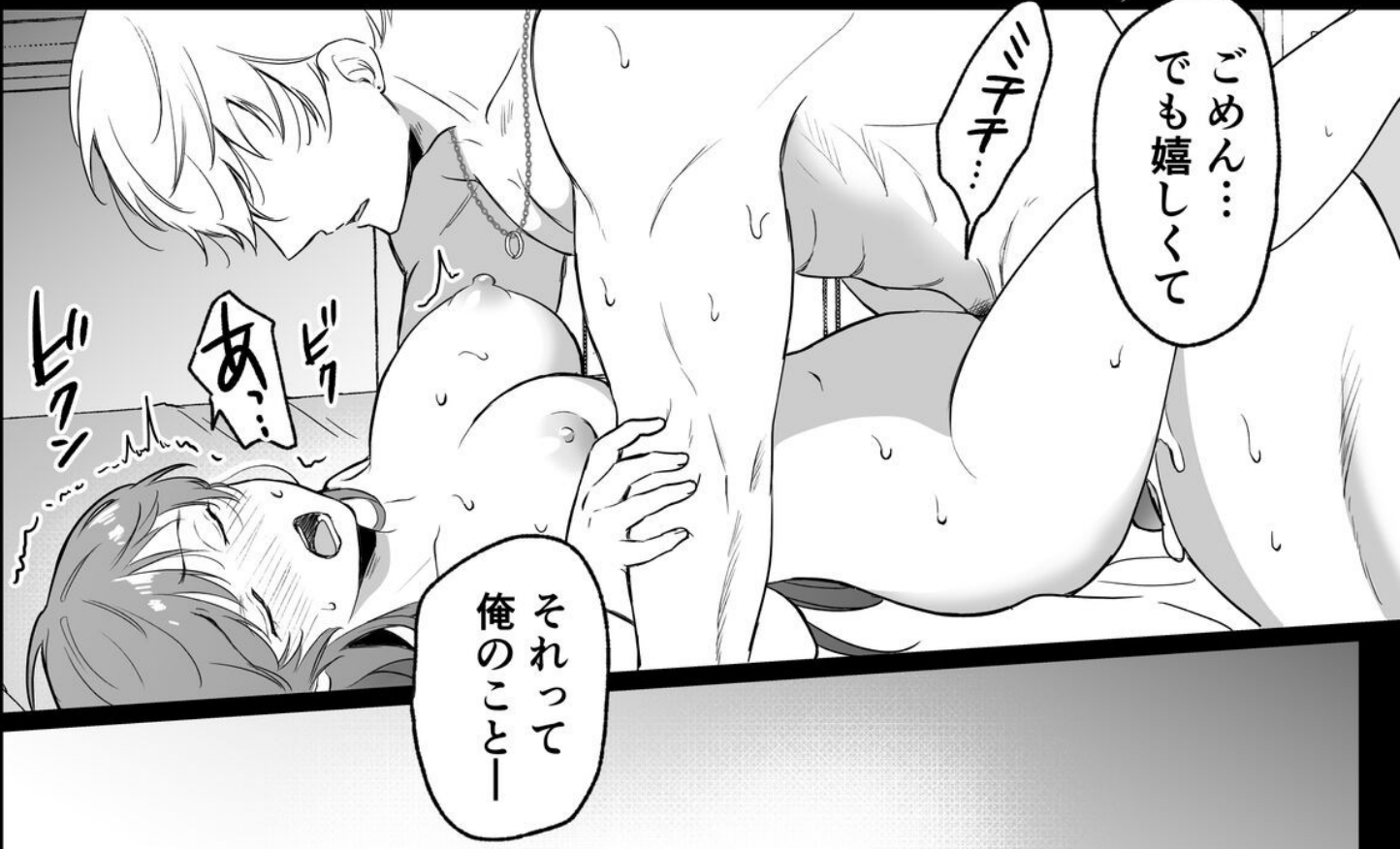
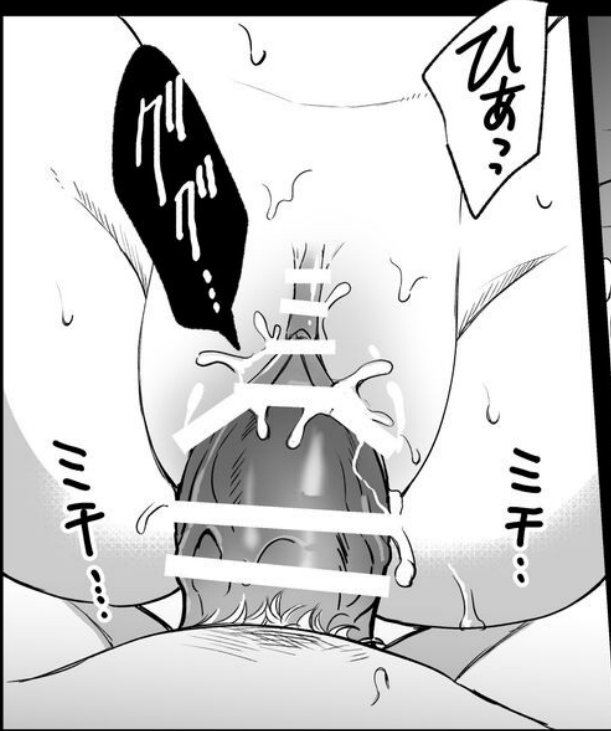
エルジュが私以外の
女性と話をしている
だけで胸がざわついて
辛いのに

こうして抱かれると
身体だけじゃなくて
心も満たされてっ



苦しいっ

色々な感情で
心がグチャグチャに
なってる





カッパッ

つちがつ!!

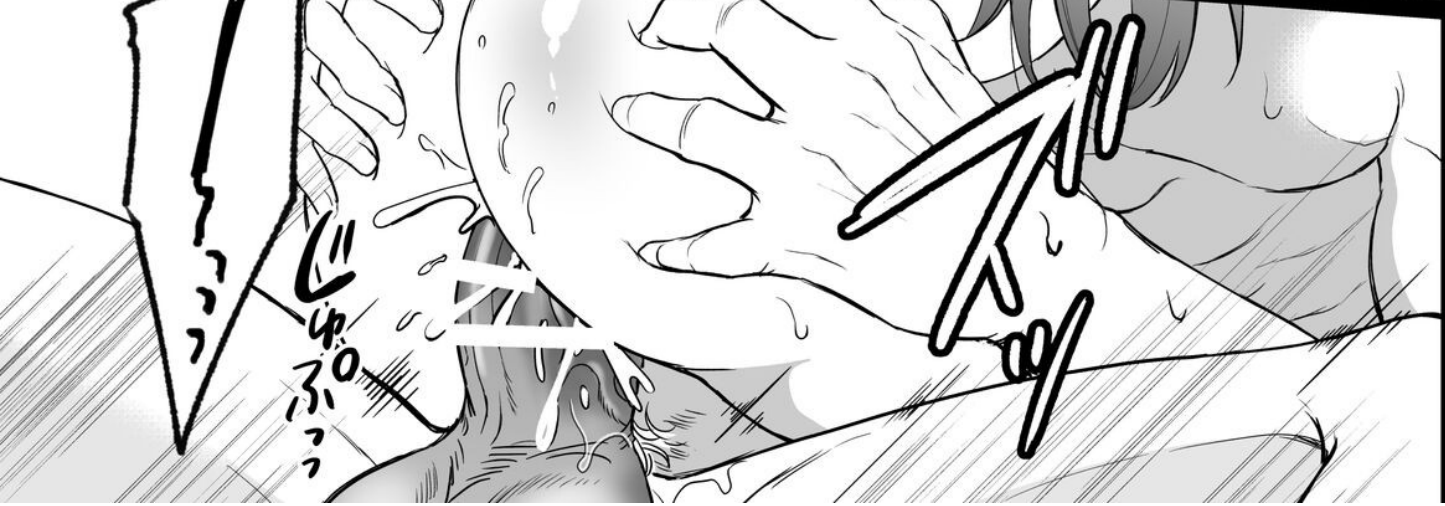


好きって
ことでしょ?



!?

だめだ君に
そんなこと
言われたらっ



じゅっ
ふっ



あー！

うれしすぎてっ

まっ！

あ

あ

あ

やあっ
胸やめてっ

ちゅる

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ



君はまだ自分の
気持ちに認めたくなくて
俺から逃げたい
みたいだけど

絶対
逃がさないからっ



つまた出すよっ

あー

あー

ずちゅ

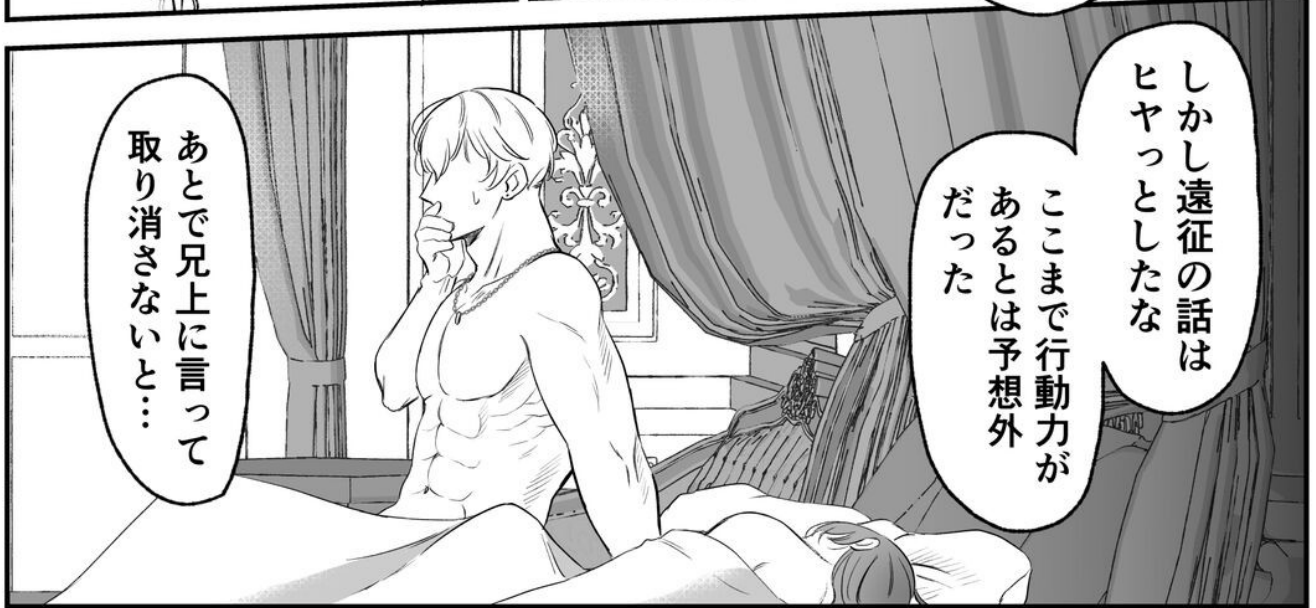
はちゅ



まさかあんな熱烈な告白を聞けるとは…

他の女と話している所をわざと見せてみたけど

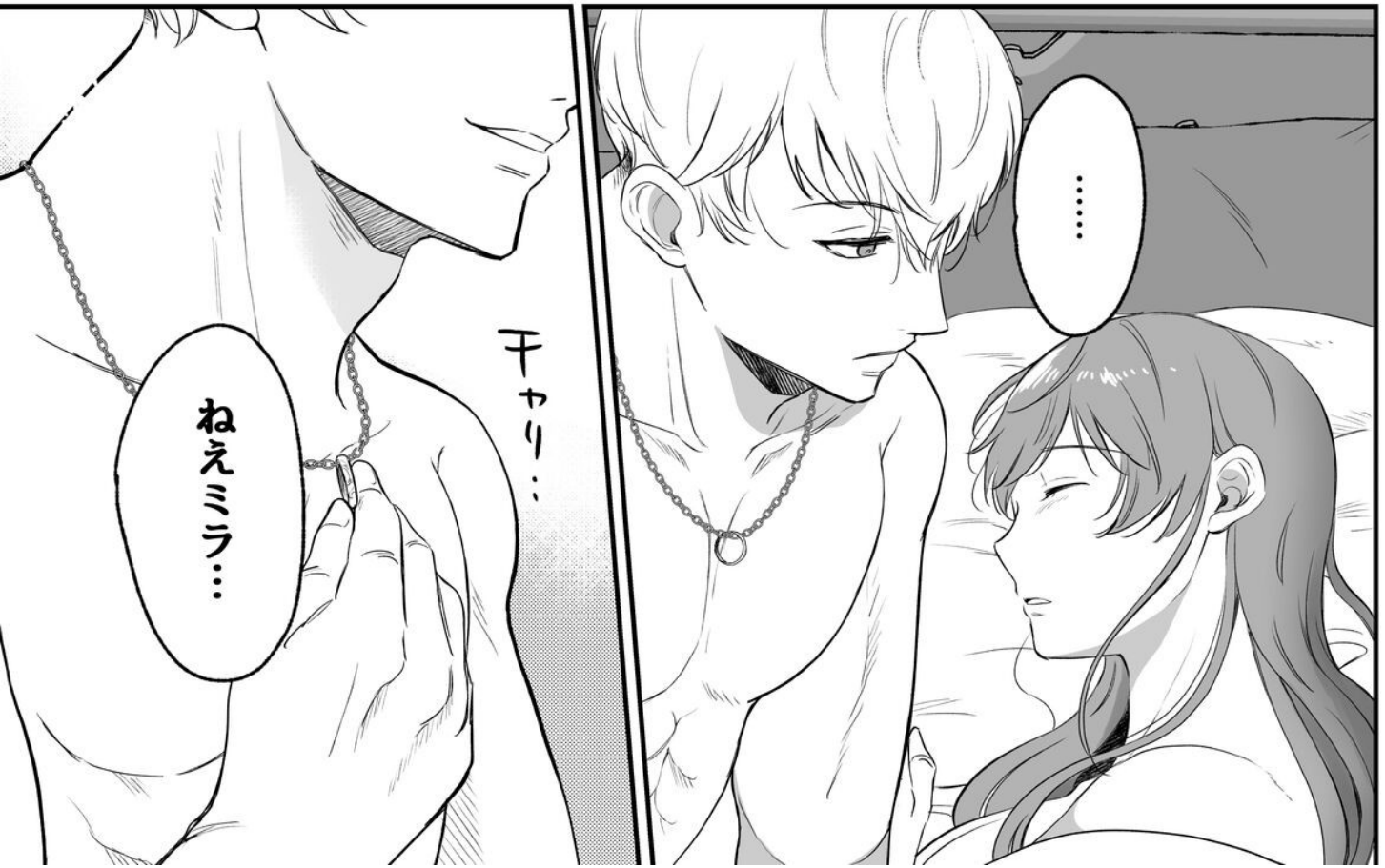
もっと自分の気持ちをもっと自覚して欲しくて



あとで兄上に言って取り消さないとは…

ここまで行動力があるとは予想外だった

しかし遠征の話はヒヤッとしたな



ねえミラ…

干ヤリ…

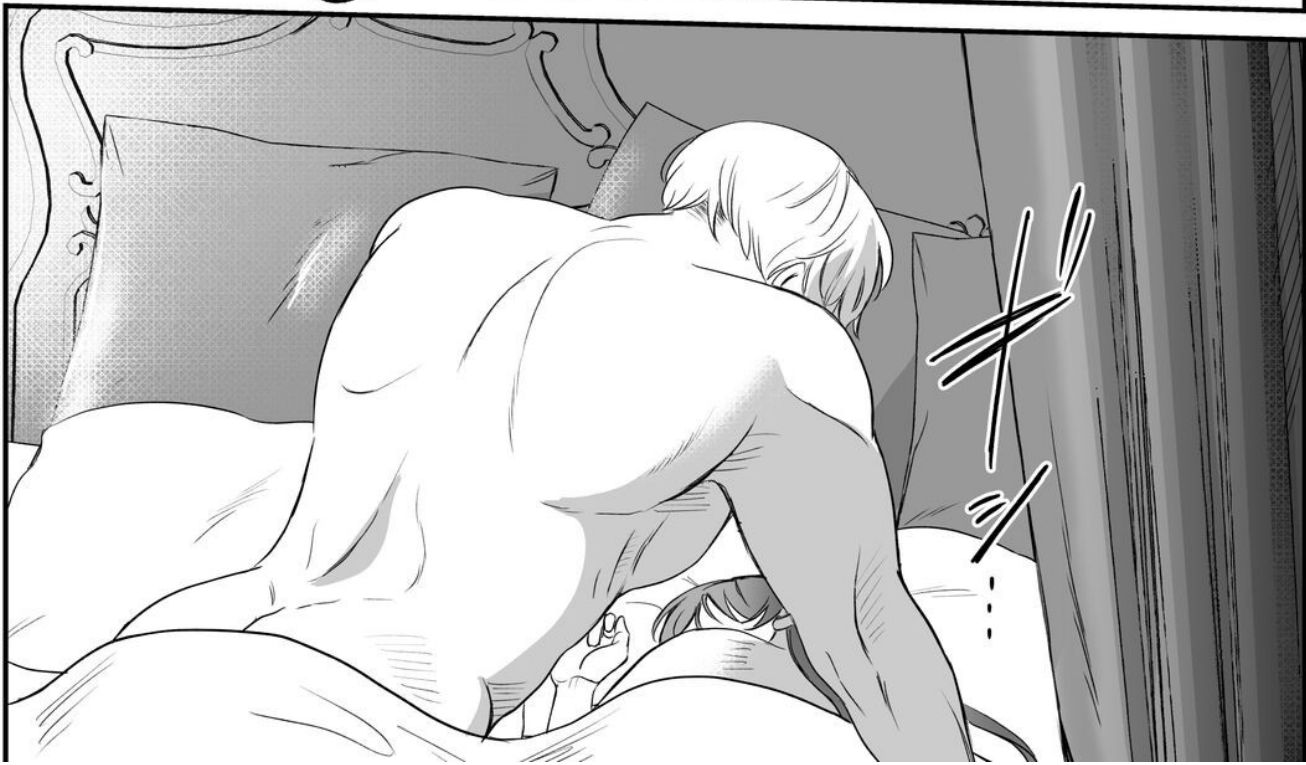
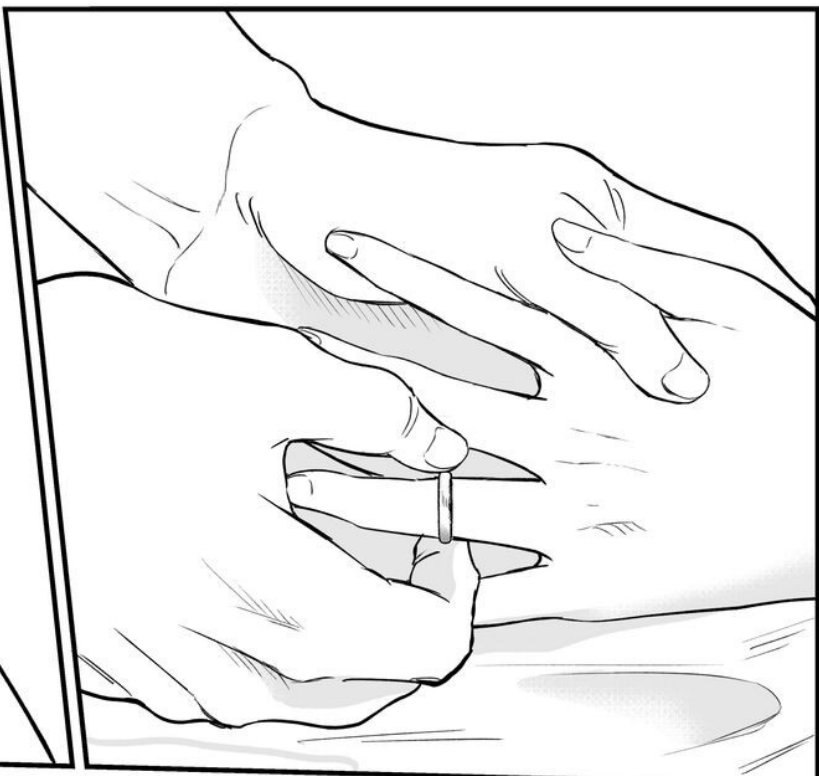
……



もういいよね？

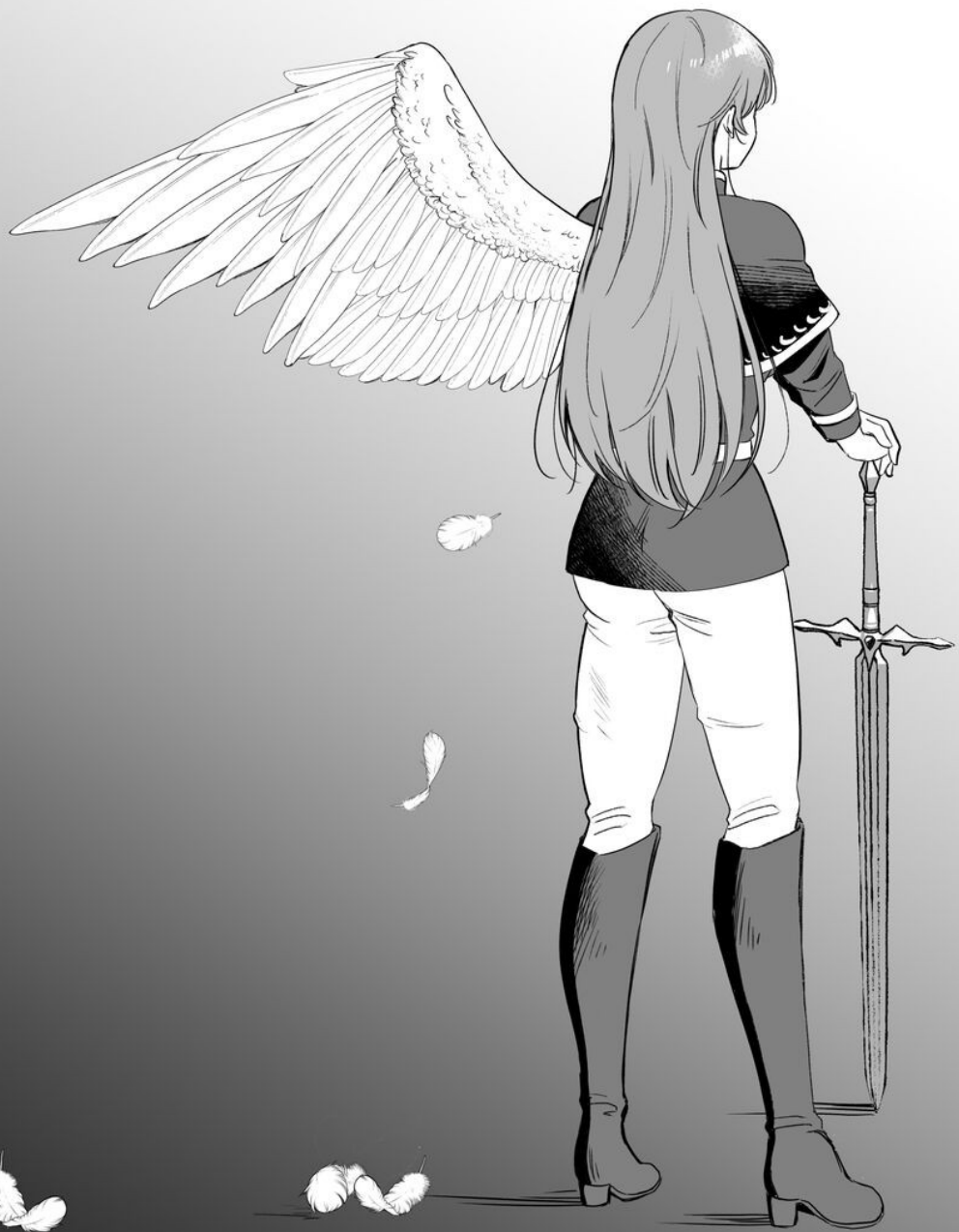


鳥のように飛び回る
君も好きだったけど…





もう一生
逃がさないよ……



本編の少し前の話

おいエルジュ！
お前また縁談の話
断ったそうだな！

お前が縁談を
断るのはこれで
3回目だ！

どの姫も見目麗しく
器量もいい
何が不満なんだ!?

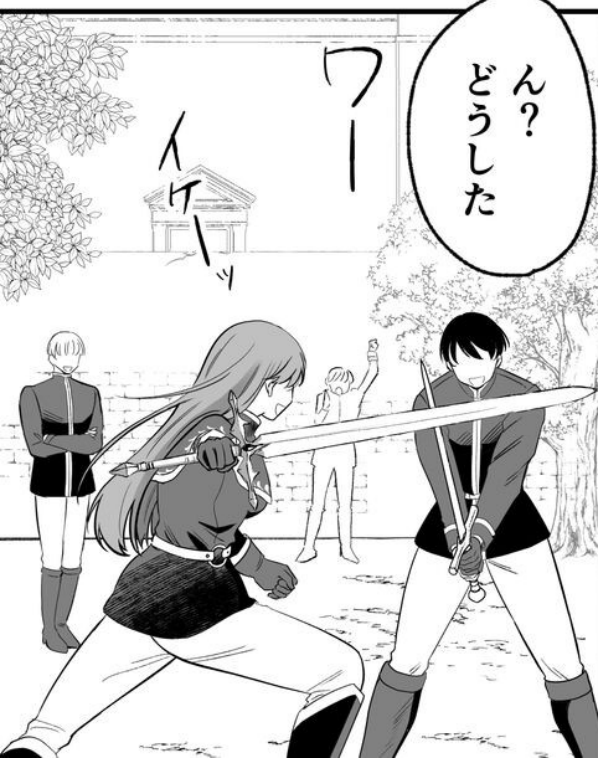
おいつ
エルジュ!!

何か言ったら
どうだ!?

.....

おっとっ
いきなり止まるなっ
危ないな!

ん？
どうした



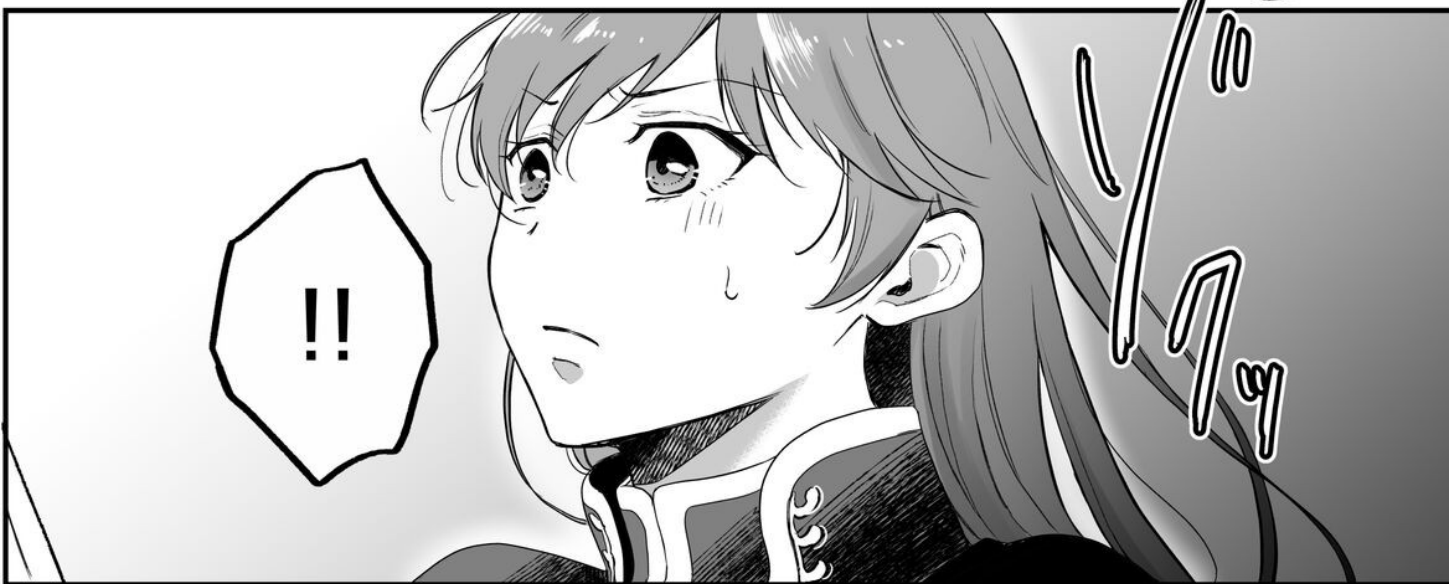


見ている
こっちまで
元気になるな!

.....



ああミラか
また今日も一段と
元気だな!!



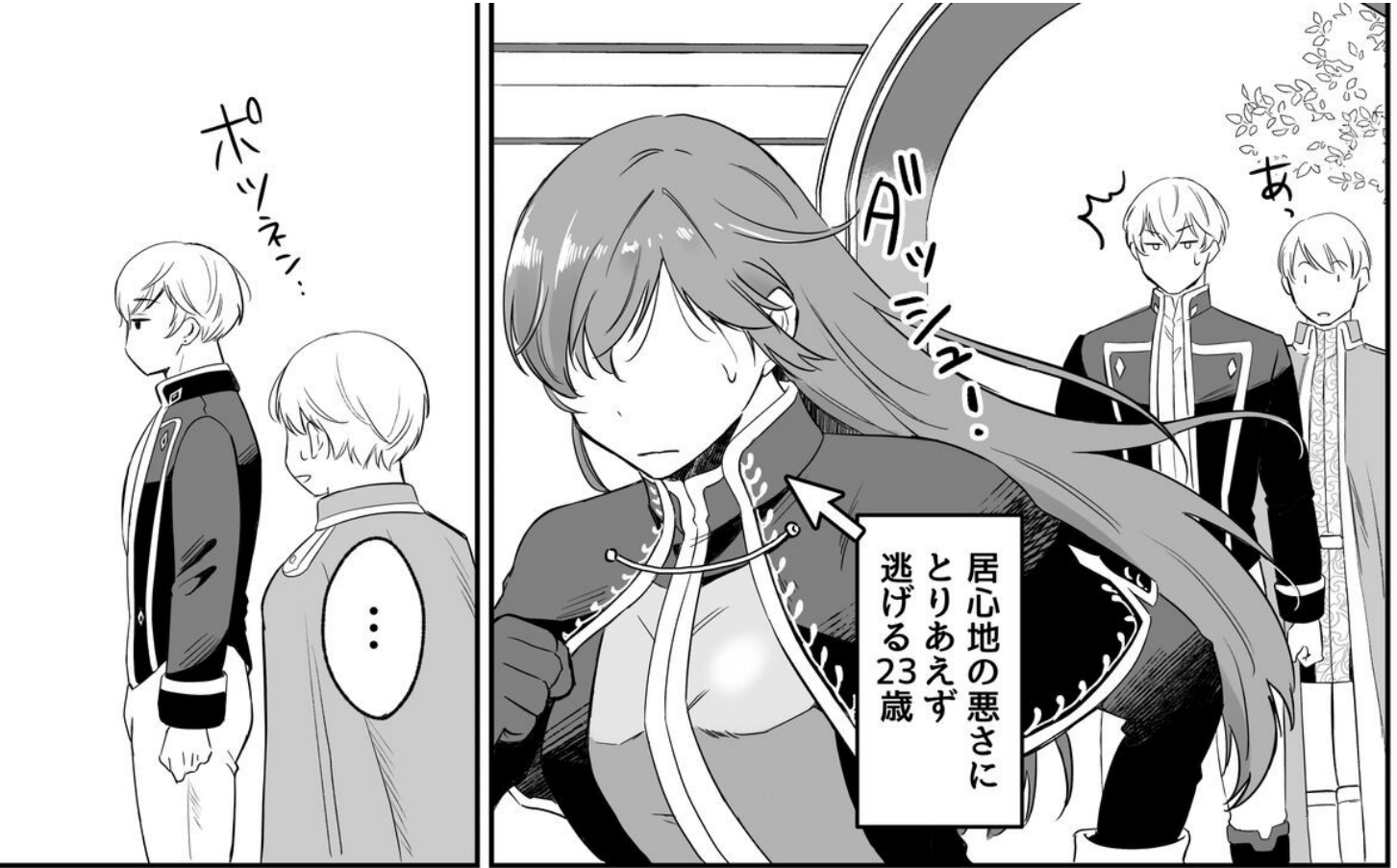
!!



今まで相手をしたことがない
タイプでどう接したら
良いのか分からず
ただ見ているしかない27歳



また
見られてる!







あとがき

本作品をご購入くださり、ありがとうございます。
この度約1年ぶりに女性向け漫画をなんとか無事に出せてホッと
しております、モゲモゲと申します。
今回は私の性癖をありったけ詰め込んでみました。
秘めた片思いからの無理矢理が大好きで…
同じ性癖の方に喜んで頂けたら嬉しいです。

今回の主人公ミラちゃんは、当サークルの男性向け作品「花隠し」
の主人公円花ちゃんとは、真逆な性格を意識して作ってみました。
私的にあまり描かないタイプの子なのでキャラ設定など苦労しま
したが、楽しんで頂けたら嬉しいです。

追記：こちらの作品ですが、続編希望のご感想・コメントありがと
うございます！只今続編を制作中です。続編はまたすれ違いはある
もののミラとエルジュがもっとイチャイチャする話を予定してます。
(続編の進歩、発売時期告知はTwitter、pixivにてお知らせして
おります)

最後までお読み下さり感謝です！ではでは！！

発行:モゲモゲランド

作者:モゲモゲ

Twitter→ <https://twitter.com/mogemogeland777>

pixiv→ <https://www.pixiv.net/users/63188037>

18歳未満の購読、無断転載禁止

他サイトへの転載、アップロードを固く禁じます。

10000DL
おが"ら
"ざいます!
モ"モ"

